

團長之ヲ召集ス

第五十五條 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル者ハ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ關シテハ陸軍補充條例ニ依ルノ外仍本章ノ規定ニ依ル

第五十六條 師團長ハ演習召集ノ日時人員日數及部隊ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

前項ノ召集日數ハ演習ノ成績ニ依リ之ヲ増加スルコトアルヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第五十八條 應召員中傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者ハ應召員又ハ之ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ到著日時迄ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長ニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷證書犯罪所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

前項ノ手續ヲ爲スニ方リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第五十九條 應召員中父母ノ疾病危篤又ハ死亡ノ爲召集ノ延期ヲ願ハントスル者ハ將校同相當官准士官ニ在テハ師團長、下士兵卒及補充兵ニ在テハ聯隊區司令官ニ宛タル願書ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長ニ差出スヘシ但シ父母ノ疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ

第六十條 第五十八條ノ場合ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地町村長寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ者ニ在テハ寄留地町村長ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

町村長ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ聯隊區司令官ノ指定ニ基キ本人ニ出發ヲ命シ又ハ出發ヲ差止ムヘシ

第六十一條 演習召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項及第四十條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第六章 教育召集

第六十二條 教育召集トハ教育ノ爲第一補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第六十三條 聯隊區司令官ハ教育召集ノ達ヲ受ケタルトキハ教育召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第六十四條 教育召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項第四十條第五十三條第五十四條第五十六條及第五十八條乃至第六十條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者又ハ召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第七章 補缺召集

第六十五條 補缺召集トハ平時ニ於テ臨時ニ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ

第六十六條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ認可ヲ得テ師團長之ヲ行フ

第六十七條 聯隊區司令官ハ補缺召集ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第六十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條第一項第二項第四十條第五十六條第一項第五十八條乃至第六十條ヲ準用ス

第八章 簡閱點呼

第六十九條 簡閱點呼トハ豫備役後備役下士兵卒歸休兵及第一補充兵ヲ集合シテ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第七十條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十一條 師團長ハ部下ノ佐官又ハ尉官ニ簡閱點呼執行官ヲ命シ之ニ必要ナル訓示ヲ授クヘシ

簡閱點呼ニ參會スヘキ者僅少ナル備隊ノ地ニ在テハ之ヲ省略スルコトヲ得

七十二條 聯隊區司令官ハ第七十條ノ達ヲ受ケタルトキハ點呼場點呼區域及點呼日割ヲ定メ之ヲ師團長ニ差出シ警視總監地方長官憲兵隊長簡閱點呼執行官及郡長

ニ通知スヘシ

第七十三條 地方長官東京府ニ在テ及郡長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ地方長官

ハ警視總監東京府ニ在テハ之ヲ警察署長、郡長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

憲兵隊長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第七十四條 聯隊區司令官ハ點呼令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第七十五條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十四條第二十五條及第四十條ヲ準用ス

第七十六條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到著シ簡閱

點呼執行官ニ届出ツヘシ

第七十七條 町村長ハ簡閱點呼ニ參列シ簡閱點呼執行官ノ要求ニ應シ其ノ事務ヲ補

助スヘシ又必要アルトキハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

第七十八條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷痰疾病犯罪所在不明等ノ爲

參會スルコト能ハサル者ハ本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄

ニ簡閱點呼執行官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本籍地町村長寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ許可ヲ受

ケタル者ニ在テニ差出スヘシ但シ傷痰疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷證書、犯罪所

ハ寄留地町村長在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

第七十九條 簡閱點呼執行官ハ遲參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ他ノ點呼場ヲ指

定シテ參會ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ令狀ヲ作り之ヲ交付シ受領證ヲ受

取ルヘシ

第九章 罰則

第八十條 正當ノ事由無クシテ第二十五條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタ

ル者並簡閱點呼參會者ニシテ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ノ命ニ服セス又ハ其ノ

職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十一條 正由ノ事由無クシテ第二十六條第二項第二十八條第一項乃至第三項第

二十九條第一項第三十條第一項第二項第三十一條第一項第五十八條第一項第六十

條第一項第七十八條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者並正當ノ事由無

クシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ

五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十二條 正當ノ事由無クシテ第三十二條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第八十三條 臺灣ニ於テ演習召集教育召集及簡閱點呼ヲ行フニ際シテハ陸軍大臣適宜其ノ方法ヲ規定スルコトヲ得

第八十四條 豫備役後備役屯田兵下士卒ノ召集事務ニ關シ郡長及町村長ノ職務ハ屯田兵村監視之ヲ行フ

第八十五條 士官適任證書所持者ヲ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ關シテハ第五十五條ヲ準用ス

第八十六條 當分ノ内第七師團ニ於テハ演習ノ爲他ノ師管在籍ノ者ヲ召集スルコトヲ得

第八十七條 本條例ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊令ニ依ルコトヲ得

三十四年十一月十七日
令第十七號
參看

●陸軍省令第二十九號 (明治三十二年十月十一日)
陸軍召集條例施行細則

第一章 總則

第一條 召集ニ關係アル官吏公吏ハ動員手簿ヲ作り之ニ充員召集補充召集及國民兵召集ニ關シ自ラ計畫準備シタル事項ノ要領並召集實施ニ方リ其ノ景況及參考ト爲スヘキ事項ノ要領ヲ記シ其ノ他前記載法ニ依リ馬匹徵發事務ニ關スル事項ヲモ附記スヘシ

第二條 召集ニ關係アル官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正スヘシ

第三條 動員令第一樣式及國民兵召集令ノ通達ハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用キルモノトス其ノ使丁ヲ用キルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス

充員召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ及市町村長ヨリ各自ニ交付スル爲ニ用キル使丁行進速度ノ基準モ前項ニ依ル

陸軍召集條例施行細則

第四條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文第一様式ヲ至急官報ヲ以テ返電スヘシ

第五條 充員召集補充召集及國民兵召集實施ニ方リ其ノ事務ニ係ル文書令狀ヲ除クヲ發送スルニハ動員用封筒第三様式ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第六條 市町村長ヨリ各自ニ交付スルニハ普通ノ封筒ヲモ用キサルモノトス
第六條 市町村長ハ其ノ所管外ニ在郷軍人又ハ第一國民兵ノ轉籍シタル者アルトキハ本人ニ關シ在郷軍人名簿又ハ第一國民兵名簿ニ記載セル事項ヲ轉籍地市町村長ニ通知スヘシ但シ第一國民兵ニ係ルトキハ仍其ノ戰時名簿ヲ送付スヘシ

第七條 郡長ハ令狀送付證第四様式ヲ作り令狀ヲ町村長ニ送付スルニ方リ同時ニ送付スヘシ

第八條 師團長警視總監地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ條例第四條ノ檢閲ヲ爲シタルトキ及爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ

報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

第九條 師團長ハ召集事務ニ關シ規定ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規定ヲ公示シタル場合ニ於テハ仍其ノ旨ヲ報告スヘシ

第十條 本則中何日迄ニ何日以内ニ又ハ前何日ニ達、通知、送付、差出、報告スヘシトアルハ到達ノ期日ヲ謂フ

第十一條 本則中聯隊區司令官ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官、郡長ノ職務ハ島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第二章 充員召集

第一款 充員召集準備

第十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿待命員名簿及充員召集令狀第五式ヲ受ケタルトキハ其ノ令狀ヲ充員召集名簿ニ照較シ動員ノ區分ニ從ヒ各別郡長ニ在テハ先ツ動員ノ區分ニ從ヒ町村又ハ之ニ準スヘキモノ毎ニ分テ袋ニ納レ保管スヘシ

第十三條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿待命員名簿訂正ノ通知及其ノ訂正ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ該名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ
不用ニ歸シタル令狀アルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第十四條 郡市長ハ演習召集教育召集中ノ者及短期在營ノ現役兵ニシテ入營中ノ者ノ充員召集令狀ハ其ノ召集又ハ入營期間別ニ保管スヘシ
郡市長ハ演習召集又ハ教育召集中ノ者ニシテ歸省休暇ヲ許可シタル旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ休暇期間充員召集令狀交付ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第十五條 郡市長ハ在郷軍人死亡轉籍其ノ他異動ノ届書ヲ受ケタルトキハ充員召集名簿待命員名簿ヲ訂正シ其ノ届書ニ令狀ヲ添ヘ聯隊區司令官ニ送付スヘシ但シ管内ニ於テ轉籍シタル者又ハ氏名ヲ變更シタル者ニ在テハ名簿及令狀ヲ訂正スヘシ

三十五年
七月省令
第二十五
號參看

第十六條 警視總監地方長官ハ集合場ニ於ケル召集事務所ノ準備ニ關シ師團長ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第十七條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ軍用旅舎ヲシテ召集實施ニ方リ二十日間旅舎ニ掲クヘキ看板及標旗第六式又ハ標燈第七式ヲ準備セシムヘシ但シ平常之ヲ掲ケシムルモ妨無シ

第十八條 地方長官東京府ニ在テハ師團長ノ通知ニ基キ必要ノ事項ヲ警察署長及警察分署長ニ指示シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在テハ警察官吏ヲシテ豫メ之ト協議セシムヘシ

第十九條 憲兵ハ警察官吏ト協議シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ但シ衛戍地ニ於ケル召集事務所ニ關シテハ憲兵ノ主務トシテ準備スヘキモノトス

第二款 充員召集實施

陸軍召集條例施行細則

第二十條 郡市長ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ到着日數ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ令狀表面到着日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ之ヲ各自ニ交付スヘシ但シ第十四條ニ依リ保管スル令狀ハ此ノ限ニアラス

汽車汽船ニ乗ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第二十一條 町村長ハ郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ之ヲ各自ニ交付スヘシ

第二十二條 郡長ハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ應召スルコト能ハサル者事故止ミ町村長ニ届出テタル場合ニ於テ之ヲ出發セシムヘキ最終期日ヲ町村長ニ達スヘシ

第二十三條 市町村長ハ令狀ノ交付ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ發送及交付ヲ終リタル日時刻及交付人員ヲ市長ハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名住所及其ノ召集部隊ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名住所及事由ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前三項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前項ノ例ニ依リ報告及通知スヘシ

第二十四條 市町村長ハ傷痍疾病犯罪所在不明旅行等ノ爲應召スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上其ノ届書ハ毎日之ヲ取纏メ市長ハ聯隊區司令官ニ町村長ハ郡長ニ差出シ令狀ハ之ヲ保管スヘシ又其ノ人名住所及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミ市町村長ニ届出テタルトキハ市長ハ聯隊區司令官ニ町村長ハ郡長ノ通達ニ基キ出發セシムヘキ期日前ナルトキハ其ノ

令狀ノ餘白ニ事由及出發日時ヲ記シ之ヲ本人ニ交付シテ出發セシメ期日後ナルトキハ其ノ出發ヲ差止メ其ノ旨ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第二十五條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及應召セサル爲返付ヲ受ケタル令狀アルトキハ市長ハ其ノ人名住所及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後三十日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ町村長ハ其ノ令狀ヲ取纏メ召集期日後二十日以内ニ郡長ニ差出スヘシ

市長ハ第十四條ニ依リ保管スル令狀アルトキハ前項ノ令狀ト共ニ送付スヘシ

第二十六條 市町村長ハ令狀ノ受領證ヲ編綴シ召集期日後三十日間保存スヘシ

第二十七條 郡長ハ第二十三條第一項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ作り之ニ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時時刻及各町村長ノ令狀ヲ受領シタル月日時時刻ヲ記入シ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十八條 郡長ハ第二十三條第三項第四項及第二十四條ノ報告及届書ヲ受ケタル

トキハ毎日之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十九條 郡長ハ第二十五條ノ令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後二十五日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第十四條ニ依リ保管スル令狀アルトキハ前項ノ令狀ト共ニ送付スヘシ

第三十條 憲兵又ハ警察官吏ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ軍用旅舎ニ動員ヲ令セラレタル旨ヲ告知シ看板及標旗又ハ標燈ヲ掲ケシムヘシ

第三十一條 憲兵及警察官吏ハ豫定ノ召集事務所其ノ他必要ノ地ニ出張シ應召員ニ便宜ヲ與フヘシ但シ停車場司令部ノ設ケアル停車場ニ在テハ該司令官ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及復員ニ先チ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名及事由ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ待命員名簿ニ記載常備後備役補充兵役又ハ兵役ニ堪ヘサル者ヲ除ク郡長ハ其ノ人名及事由ヲ町村長ニ達シ市長ハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十二條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十四條 憲兵及警察官吏ハ違令ノ者無カラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三款 充員召集ノ解除

第三十五條 警視總監地方長官憲兵隊長及聯隊區司令官ノ復員令ヲ通達スルニハ電信ヲ用キス使丁又ハ郵便ニ依ルヲ例トス

第三十六條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ復員ニ方リ召集ヲ解除セサル者召集ヲ解除スルモ歸郷セシメサル者ヲ包含スノ人名及事由又ハ召集中部隊ヲ變更シタル爲召集解除ノ期日ヲ異ニスル者又ハ復員ニ方リ現役ヨリ豫備役後備役ニ轉入スヘキ者ノ人名ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十七條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十八條 憲兵及警察官吏ハ復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ違令ノ者無カラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三章 補充召集

第三十九條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ補充召集令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ待命員名簿ニ照較シ該名簿ニ召集部隊及到着期日ヲ記入シ郡長ハ其ノ令狀ヲ町村長ニ送付シ市長ハ其ノ令狀ヲ各自ニ交付スヘシ

待命員名簿ニ記載セサル者ヲ召集スル場合ニ於テハ前項ニ依リ該名簿ニ記載スヘシ

第四十條 補充召集ニ關シテハ第二十一條乃至第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第三十二條乃至第三十四條及第三十六條乃至第三十八條ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第四十一條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入スヘキ者ノ人名書ヲ受ケ

タルトキハ之ヲ十一月十日迄ニ町村長ニ達スヘシ

第四十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ國民軍編入ヲ許可セラレタル指令ノ送付ヲ

受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十三條 町村長ハ前條指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十四條 市町村長ハ國民兵ノ現在員國民兵役ニ轉入スヘキ者及國民軍編入ヲ許

可サレタル者ニ基キ國民兵人員表第八樣式及退役將校名簿第九樣式ヲ作り市長ハ十二月十

五日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ町村長ハ十一月三十日迄ニ郡長ニ差
出スヘシ

第四十五條 郡長ハ前條ノ人員表及名簿ニ基キ國民兵人員表及退役將校名簿ヲ作り

十二月十五日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第四十六條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受
ケタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第四十七條 市町村長ハ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ
之ニ依テ其ノ人名及其ノ他ノ事項ヲ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十八條 市町村長ハ退役將校同相當官准士官ノ増減及身上ニ異動アリタルトキ
ハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第四十九條 郡長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第五十條 市町村長ハ應召員ヲ其ノ集合場ニ引率スルニ方リ應召員ノ人名書退役將
校名簿第一國民兵名簿及應召員ノ戰時名簿ヲ携帯スヘシ

第五十一條 警視總監地方長官ハ師團長ヨリ國民兵召集ノ通知ヲ受ケタルトキハ所
定ノ國民軍ヲ成立セシムル爲第一條ニ依リ計畫準備シタル事項ノ外臨機適應ノ處
置ヲ爲スヘシ

第五章 演習召集、教育召集

第五十二條 師團長ハ演習又ハ教育ノ爲召集スヘキ者ノ兵種階級及兵役年級ヲ聯隊
區司令官ニ達ス聯隊區司令官ハ之ニ該當スル者ヲ調査シ其ノ管内ニ本籍ヲ有スル

者及寄留ノ者ヲ區別シタル人員將校同相當官及士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ハ人名以下同シヲ師團長ニ報告ス師團長ハ之ニ依テ少クモ召集期日前二十日ニ召集ノ日時兵種階級人員日數及部隊ヲ定メテ之ヲ諸部團隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ又聯隊區司令官ノ報告ハ所管師團長ニ差出スヘシ該師團長ハ之ヲ召集部隊所管ノ師團長ニ送付スヘシ

第五十三條 師團長ハ師管内ニ演習召集ヲ爲スヘキ部隊無キ者アルトキハ演習ヲ爲サシメントスル部隊所管ノ師團長ニ協議シテ召集日時等ヲ定メ前條第一項ノ例ニ依リ聯隊區司令官ニ達スヘシ部隊所管ノ師團長ハ之ヲ部隊長ニ達スヘシ

第五十四條 師團長ハ士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ノ中他ノ師管ニ居住ノ者ヲ召集スルニハ召集ノ日時人名日數及部隊ヲ定メ少クモ召集期日前二十五日ニ本人本籍地所管ノ師團長ニ通知スヘシ該師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ其ノ居住地本籍地師管ナラサルトキハ本籍地所管ノ師團長ハ之ヲ本人居住地所管ノ師

團長ニ通知シ該師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十五條 聯隊區司令官ハ第五十二條乃至第五十四條ノ達ニ基キ速ニ召集名簿第十

式及令狀第十一ヲ作り其ノ令狀ハ直ニ郡市長ニ送付シ其ノ名簿ハ召集期日前日ヨ

リ到著時刻迄ノ間ニ於テ召集部隊長ニ送付スヘシ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第五十六條 師團長ハ召集延期又ハ事故ニ因リ應召ヲ遅延スル者ノ最終ノ出發期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到著ヲ遅延スル者アリタルトキ之ニ歸郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ
第五十八條 師團長聯隊區司令官ハ召集延期ヲ許可スルニ方リ其ノ期ノ召集ニ應セシメサル者ノ指令ニハ令狀ヲ市町村長ニ返付スヘキコトヲ附記スヘシ

第五十九條 師團長ハ進級ノ爲又ハ事故ノ爲召集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ各自ニ達セシムヘシ

第六十條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ヲ召集セントスルトキハ召集ノ日時日數及部隊ヲ將校同相當官ニ在テハ寄留地所管ノ師團長ヨリ本籍地所管ノ師團長ニ准士官以下ニ在テハ寄留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第六十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到著スルトキハ直ニ身體檢査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記シ之ヲ召集期日後三日以内ハ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

傷痍疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ハ軍隊手牒ニ其ノ旨ヲ記シテ歸郷セシメ召集期日後三日以内ニ其ノ診斷證書常備後備役補充兵役又ハ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

第一項ニ依リ名簿發送後召集ニ應シタル者アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司令官

ニ通知スヘシ其ノ召集ニ應シタル者ニ就テハ前二項ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 召集部隊長ハ應召員中途ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到著ヲ遲延スル者アリタルトキハ師團長ノ達ニ基キ之ニ歸郷ヲ命シ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十三條 聯隊區司令官ハ召集名簿中ニ他ノ聯隊區ノ者アリタルトキハ第六十一條第六十二條ノ通知ニ基キ其ノ應召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名召集期日及日數ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十五條 郡市長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十六條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニシテ父母ノ疾病危篤又ハ死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲休暇ヲ願出ツル者歸省休暇ヲ許可シタル者アルトキハ直ニ其ノ人名事由及休暇期日ヲ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官及郡市長ニ通知スヘシ

前項ノ休暇中ニ召集解除ヲ爲スヘキ者アルトキハ直ニ召集ヲ解除スヘシ

第六十八條 召集部隊長ハ演習又ハ教育ヲ終リタルトキハ軍隊手牒ニ所要ノ記入ヲ爲シ在ルヤ否ヲ點檢シテ召集ヲ解除スヘシ

第六十九條 召集部隊長ハ令狀ニ指定スル期日ニ召集ヲ解除スルモ歸郷セサル者アルトキハ其ノ人名事由及解除期日ヲ聯隊區司令官ニ通知シ召集解除ヲ延期スル者ノ中其ノ期日ヲ豫定スルコト能ハサル者ニ在テハ召集ヲ解除スル後ノ者ニ歸郷ヲ命スルトキ更ニ其ノ通知ヲ爲スヘシ士官其ノ居住地本籍地所管ノ聯隊區警備隊區ナラサルトキハ仍本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第七十條 聯隊區司令官ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七十一條 郡市長ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十二條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十三條 演習召集教育召集ニ關シテハ第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第一項及第三十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記シ市町村長ハ第二十三條第二項ニ依リ令狀ヲ交付シタル人名及其ノ召集部隊ヲ通知スルニハ召集日數ヲ附記スルモノトス

第七十四條 聯隊區司令官ハ郡市長ヨリ令狀ノ送達ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ一表ニ作り之ヲ師團長ニ差出スヘシ

第六章 補缺召集

第七十五條 師團長ハ補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ兵種等級人員召集部隊到着日時

ヲ定メ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十六條

聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集名簿第十樣式及補

缺召集令狀第十一樣式ヲ作り其ノ令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ送付シ其ノ名簿ハ召集期

日前日ヨリ到着時刻迄ノ間ニ於テ召集部隊長ニ送付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ補缺召集名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第七十七條

郡市長ハ補缺召集令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ召集ヲ令セラレタル者ノ充員召集令狀ハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十八條

補缺召集ニ關シテハ第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條第一第二十六條乃至第二十八條第二十九條第三十條第三十四條第五十六條乃至第五十八條第六十一條第一項第三項第六十二條第六十四條乃至第六十六條及第七十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記スルモノトス

第七章 簡閱點呼

第七十九條

師團長ハ簡閱點呼執行官ニ當該聯隊區司令部書記一名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

第八十條

師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第八十一條

師團長ハ簡閱點呼ヲ省畧スル場合ニ於テハ其ノ狀況ヲ悉シテ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第八十二條

聯隊區司令官ハ簡閱點呼開始前三十日ニ條例第七十二條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半日間ニ點呼ヲ結了シ他ノ半日ハ旅行ニ充ツルヲ要ス

第八十三條 聯隊區司令官ハ第十二様式ニ依リ點呼令狀ヲ作ルヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官ニ送付スヘシ但シ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スルモ妨無シ

第八十五條 市町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ簡閱點呼期日前十五日ニ之ヲ各自ニ交付シ終ルヘシ

第八十六條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除ヲ受ケタル者アルトキハ前條令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタル者アリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十八條 市町村長ハ傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲簡閱點呼ニ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メテ其ノ人名及事由

ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十九條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ携ヘ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタル届書及令狀ハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第九十條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ方リ在郷軍人名簿ヲ携帯スヘシ

第九十一條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ平常ニ於ケル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要ノ訓示ヲ與フヘシ

第九十二條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十三條第一項第二十六條第二十七條第三十四條及第七十四條ヲ準用ス

附 則

第九十三條 屯田兵下士兵卒ノ演習召集簡閱點呼ニ關シテハ第七師團長本則ニ準シ適宜其ノ方法ヲ規定シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九十四條 本則ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊則ニ依ルコトヲ得

第一様式

動第 號

動員令

何師團何動員ヲ令セラル動員第一日ハ何月何日ナリ

明治 年 月 日午前(後) 時

師團長(地方長官)(憲兵隊長)(聯隊區司令官)氏名

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號トス
- 三 電文中ニ數字ヲ記スニハ假名字ヲ用キ其ノ下ニ括弧ヲ置キ之ニ同一ノ數字ヲ記入スヘシ
- 四 電文中ニハ發簡番號及發信年月日ヲ記入セス又發信者ハ官名又ハ職名ノミヲ記

シ其ノ氏名ハ之ヲ省略スルコトヲ得

五 師團長ノ地方長官ニ通知スル動員令ハ本文ノ次ニ「右通報ス」ト記入スルヲ例トス

第二様式

ダイサン(三)シダンドウインヲレイセラルドウインダイイチ(一)ニチハク(九)ゲ
ツイチ(一)ニチナリ○シヅオカケンチジ

第三師團動員ヲ令セラル動員第一日ハ九月一日ナリ

静岡縣知事

本様式ハ静岡縣知事返電ノ例ヲ示ス

第三様式

- 一 封筒用紙ハ適宜ニテ紅色トス
- 二 動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

第四様式

動第 號 通	受領時刻	年月日 午前 時 分
	受領證	

動第 號

何師團何動員充員召集令狀何通入
(點呼令狀何通入)

何町(村)役場 壹 袋

右送付ス

明治 年 月 日 何郡長 圖

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得但シ動ノ字ヲ附スルハ充員召集令狀補充召集令狀送付ノトキニ限ル
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應シ記入スルモノトス

第五様式

受領證

一 何月何日何隊へ召集ノ(何隊へ召集ノ爲何月何日何集合場へ到著スヘキ)充員(補充)召集令狀

右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級第何補充兵何兵)何某 圖

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部 御中

表

面 (尺曲)分五寸七

四寸五分(曲尺)

(尺曲)寸四

充員(補充)召集令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)

(第何補充兵何兵)

何 某

右充員(補充)ノ爲何部隊へ召集ヲ令セラレ明治何年
何月何日午 何時何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ當該
部隊(集合場)召集事務所ニ届出ツヘシ
但何月何日午 何時何分何驛(何港)發ノ汽車(汽
船)ニ乗ルヘシ

何聯隊區司令部圖

召集ニ應スル爲汽車(汽船)ニ乗ルヘキ者ハ指定ノ日時場所
以外ニ於テハ乗車(乗船)ノ準備無キヲ注意スヘシ
乗車(乗船)切符ヲ求ムルトキ及乗車(乗船)スルトキハ此ノ
令狀ヲ係員ニ示スヘシ

五寸(曲尺)

一 用紙ハ適宜ニシテ紅色トス

- 二 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 三 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 四 但書及欄外記註ハ一例ヲ示シタルニ過キス聯隊區司令部ニ於テ必要ト認めタル事項ヲ記入スヘキモノトス
- 五 應召員ノ到着時刻ハ師團長ノ計畫セル應召員交付回数ニ基キ適宜之ヲ定ムルモノトス

第五様式

召集旅費金何圓何拾錢

裏

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人
ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到
著地ヲ記入スヘシ

- 四 海軍卒ノ區畫ニハ元雜卒ヲ混記ス
 - 五 本表人員ニ異動ヲ生スルモ其ノ時々訂正ヲ要セス
- 第八様式ノ二

何郡市町村第二國民兵人員表		明治何年何月調	何郡市役所町村役場
年	齡	元六週間現役兵中幹部適任證書所持者	
		其ノ他ノ者	計
何	歲		
何	歲		
何	歲		

- 一 本表年齡ノ區畫ニハ月數ヲ記載セス各年齡ニ相當スル人員ハ翌年二月一日ヨリ翌々年一月三十一日迄ニ滿年ニ達スル者ヲ記ス
- 二 本表人員ニ異動ヲ生スルモ其ノ時々訂正ヲ要セス

第九様式

何郡市町村退役將校名簿			明治何年何月調	何郡市役所町村役場
住	所	年 齡	摘 要	官 名 氏 名
		何 歲		步、大尉 何 某
			一、軍醫	

- 一 本表ノ年齡ハ月數ヲ記セス調査スル月ノ年齡ヲ記ス但シ月計算ニ依ル
- 二 國民軍編入許可ノ將校同相當官准士官ハ本名簿ニ記シ其ノ氏名ノ右肩ニ志ノ符號ヲ朱書スヘシ

第十樣式

何部隊演習(教育)召集名簿		明治何年何月何日調	
住 所		何聯隊區司令部	何
兵役年級	官兵種	氏 名	應 事
郡町村豫	二步、大尉	何	否
何 々後、	二步、	某	何月何日疾病ニ因 リ不應ヲ届出ツ
何 々豫、	二步、	某	疾病ニ因リ應召即 日歸郷ス
郡町村寄留	一補、	何	々
本籍何聯隊	三步	某	何
區何郡町村			

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 寄留地ヨリ召集ニ應スル者ノ住所區畫ニハ現住所ノ下ニ「寄留」ト書シ其ノ傍ニ本籍聯隊區名及所在地ヲ朱記スヘシ
- 三 演習(教育)召集ニ應スル者ノ中戰時充用ノ部隊若ハ動員擔任部隊ニ召集スル者

第十一樣式

ニ在リテハ氏名ノ肩書ニ充員召集令狀欄外記載ノ例ニ依リ符號ヲ朱書スヘシ

受領證

一 何月何日ヨリ何日間何隊へ召集ノ演習(教育)召集令狀
右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級第一補充兵何兵)何某

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲
スヘシ

何聯隊區司令部
御 中

演習(教育)召集令狀

何府縣郡市町村

面 表
(尺曲)分五寸七

四寸(曲尺)

兵役官(兵種等級)
(第一補充兵何兵) 何某
右演習(教育)ノ爲何日間何部隊へ召集ヲ令セラル明
治何年何月何日午 何時何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以
テ當該部隊召集事務所ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部

四寸五分(曲尺)

五寸(曲尺)

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 到着地ハ何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ

第十一様式

召集旅費金何圓何拾錢

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人
ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到
著地ヲ記入スヘシ

裏

面

聯隊區司令部ニ於テハ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心
得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

第十二様式

受領證

一點呼令狀

(尺曲)分五寸七

右受領ス

明治 年 月 日 午前 時 分 後

兵役官(兵種等級第一補充兵何兵)何某
召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲スヘシ

何聯隊區司令部
御中

(尺曲)寸四

點呼令狀

何府縣郡市町村

兵役官(兵種等級)
(第一補充兵何兵)

何 某

右簡閱點呼ノ爲參會ヲ令セラル明治何年何月何日午
何時何地ニ到著シ此ノ令狀ヲ以テ簡閱點呼執行官
ニ届出ツヘシ

何聯隊區司令部

四寸五分(曲尺)

五寸(曲尺)

- 一 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 二 到著地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 三 本令狀ノ裏面ニハ聯隊區司令部ニ於テ點呼參會者及之ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

三十七年
三月十一號
參看

三十五年
二月五號
參看

●陸軍省令第一號 (明治三十三年一月廿三日)

陸軍召集諸費支出規程

第一條 充員召集補充召集ニ係ル諸費ハ臨時費ニ屬ス

定期演習召集教育召集及補缺召集ニ係ル諸費ハ經常費ニ屬ス但シ動員セル師團ニ係ルモノハ臨時費ニ屬ス

臨時演習召集其ノ他臨時ノ召集ニ係ル諸費ノ所屬ハ臨時之ヲ定ム

第二條 召集諸費ヲ分テ召集旅費歸郷旅費召集雜費トス召集旅費ハ應召員ノ旅費、歸郷旅費ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ旅費、召集雜費ハ召集事務所ノ諸費應召員ノ引率諸費召集ニ關係アル官吏公吏ノ出張旅費、諸部團隊官衙公署ニ要スル郵便電信料使丁賃金等トス

第三條 召集諸費ノ仕拂命令官ハ師團經理部長トス

第四條 召集諸費ノ出納官吏 現金前渡ヲ受クル者ハ諸部團隊、道廳警視廳、府縣廳ノ官吏及郡市長 東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハトス但シ必要ニ應シ郡書記 北海道沖繩縣ノ區書記、ハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、以下同シ

陸軍召集諸費支出規程

北海道廳支廳附ノ屬ニ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシメ若ハ警察官吏町村長ニ準ス
島廳書記ヲ包含ス
ヘキ者ヲ包含ス
出納官吏又ハ分任出納官吏ノ職務ヲ執ラシムルコトヲ得
ス、以下同シ

第五條 師團長ハ召集旅費支給ノ地方區域及其ノ區域ニ於ケル出納官吏又ハ分任出
納官吏ノ官(職)名ヲ定メ一月三十一日迄ニ聯隊區司令官警備隊司令官、警備隊區
司令官ヲ包含ス、以下同
シ

ニ達シ警視總監、地方長官ニ通知スヘシ但シ應召員ノ到着地ニ到着シタル後ニ
於テ旅費ヲ支給セシムヘキモノアルトキハ之ヲ其ノ出納官吏又ハ分任出納官吏所
屬ノ諸部團隊長ニモ達スヘシ

召集旅費支給ノ區域ハ數郡市島嶼ヲ併セ一區ト爲シ若ハ郡ノ一部ヲ他ノ郡市ニ分
屬シテ一區ト爲シ或ハ一郡ヲ二區以上ニ分ツコトヲ得

第六條 召集諸費ノ出納官吏分任出納官吏ノ任命ハ郡市長ヲ除クノ外ハ諸部團隊長、
警視總監又ハ地方長官ニ於テスヘシ

第七條 諸部團隊長、警視總監、地方長官ハ召集諸費前渡ヲ受クヘキ官吏及公吏ノ官
(職)氏名ヲ師團長ニ通知スヘシ師團長ハ之ヲ當該仕拂命令官及聯隊區司令官ニ通

三十五年
五月省令
第八號參
看

達スヘシ爾後異動アルトキ亦同シ

第八條 陸軍部外ノ出納官吏分任出納官吏ニシテ事故ニ因リ代理ヲ要スルトキ其ノ
代理者ノ命免、會計規則第九十一條第九十二條及第百條ニ依リ要スル検査員立會
員若ハ計算書ヲ調製セシムヘキモノノ任命ハ警視總監、地方長官ニ於テスヘシ
會計規則第九十三條ノ檢定書ハ師團長ニ提出スヘシ

第九條 諸部團隊長、警視總監及地方長官ハ第五條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ
之ヲ所轄出納官吏又ハ分任出納官吏ニ達スヘシ

第十條 郡市長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ郡市役所東京市京都市大阪市及北海
道沖繩縣ノ區ニ在テハ區役
所、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳、島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ區役
ハ島廳、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島廳ニ準スヘキモノ、以下同シ町村
役場町村役場ニ準スヘキモノ
ニ要スル召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表第一
様式ヲ作リ
二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第十一條 聯隊區司令官ハ充員召集名簿待命員名簿ニ依リ召集旅費及充員召集補充
召集實施ニ方リ聯隊區司令官警備隊司令官、警備隊區司令官ニ要スル召集雜費ヲ計算
令部ヲ包含ス、以下同シ

陸軍召集諸費支出規程

シ且前條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表第二様式ヲ作り二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

他ノ聯隊區ノ郡市町村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作りテ二月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十二條 削除

第十三條 憲兵隊長ハ充員召集補充召集實施ニ方リ憲兵隊本部、及憲兵分隊ニ要スヘキ召集雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス 二月二十八日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

第十四條 警視總監、地方長官ハ充員召集補充召集實施ニ方リ道廳、警視廳、府縣廳、警察署、警察分署、巡查駐在所、巡查派出所及集合場ニ於ケル召集事務所ノ設置ニ要スヘキ雜費ヲ計算シ召集諸費概算表ヲ作り第二様式ニ準ス 二月二十八日迄ニ師團長ニ送付スヘシ

第十五條 師團長ハ充員召集ニ應スヘキ將官同相當官ノ旅費召集ニ關シ各隊ヨリ集合場其ノ他ニ派遣スヘキ者ノ旅費召集事務所集合場ニ於ケルモノハ設置後ノ雜費應召員中事故ニ因リ歸郷セシムヘキ者ノ旅費應召員ノ引率諸費及其ノ他ノ雜費ヲ計算シ第十一條乃至第十四條ノ概算表ヲ調査シ之ト共ニ一表ニ取纏メ召集諸費概算表四通ハ第二様式ニ通三様式ニ通ハ第四様式ヲ作り三月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十六條 聯隊區司令官ハ十二月一日ニ於ケル充員召集名簿待命員名簿ノ現在員ヲ豫定シ更ニ第十一條ノ召集諸費概算表ヲ作り十月三十一日迄ニ師團長ニ差出スヘシ

他ノ聯隊區ノ郡市町村長又ハ其ノ分任出納官吏ヨリ召集旅費ノ支給ヲ受クヘキ應召員アルトキハ其ノ概算表ハ別ニ之ヲ作り十月二十日迄ニ當該聯隊區司令官ニ送付シ該聯隊區司令官ハ前項ノ概算表ニ合記スヘシ

第十七條 師團長ハ前條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ更ニ第十五條ノ召集諸費概算表四通ヲ作り十一月十日迄ニ陸軍大臣ニ差出スヘシ

第十八條 陸軍大臣ハ第十五條又ハ第十七條ノ概算表ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シテ大藏大臣ニ送付シ當該仕拂命令官ニ下付ス同時ニ其ノ概算表ノ有効期限ヲ定メ大藏大臣ニ通知シ當該師團長及仕拂命令官ニ令達ス但シ有効終期迄ニ次期概算表師團長及仕拂命令官ニ令達セス且金庫ニ到達セサルトキハ前期概算表ヲ有効トス

第十九條 師團長ハ其ノ計算シタル召集諸費中諸部團隊ノ出納官吏ニ前渡ヲ受ケシムヘキ金額ノ費目ヲ區分シ其ノ金額ヲ當該諸部團隊長ニ達シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十條 聯隊區司令官ハ其ノ計算シタル召集旅費中各出納官吏金庫ヨリ現金直送ノ分任出納官吏ヲ包含ニ前渡ヲ受ケシムヘキ金額ヲ該出納官吏ニ通知スヘシ但シ諸部團隊附ノ者ニ在テハ其ノ諸部團隊長ニ通知シ諸部團隊長ハ之ヲ出納官吏ニ達スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ郡市長中其ノ所管外ノ地ニ本籍ノ在ル應召員ニ旅費ヲ支給スヘキ者アルトキ及町村長ニシテ召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ其ノ應召員ノ官等級氏名居住地、到着地、召集部隊、到着地迄ノ里數及旅費額ヲ毎年二回

該郡市長及町村長ニ通知スヘシ其ノ第一回ハ三月二十日第二回ハ十一月二十日迄トス但シ他ノ聯隊區ニ係ルモノハ第一回ハ三月十日第二回ハ十一月十日迄ニ該司令官ニ通知シ該聯隊區司令官ハ本文ニ依リ取扱フモノトス

諸部團隊ノ出納官吏中召集旅費ヲ支給スヘキ者アルトキハ前項ニ準シ諸部團隊長ニ通知シ諸部團隊長之ヲ當該出納官吏ニ達スヘシ

前二項ノ通知後ニ於テ異動アレハ其ノ都度通知スルモノトス

第二十二條 召集旅費ノ支給ヲ爲スヘキ官吏及公吏ハ平時ニ於テ召集旅費受領證書第五ヲ作り置クヘシ

第二十三條 郡市長ハ召集旅費區分表第六ニ通ヲ作り一通ハ聯隊區司令部ニ送付シ一通ハ郡市役所ニ備ヘ置キ爾後異動アル毎ニ之ヲ訂正シ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第二十四條 聯隊區司令官ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ製シ第六ニ準シ應召員ヲ編入スヘキ諸部團隊長ニ送付シ其ノ異動ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ

都度之ヲ通知スヘシ

他ノ師團ノ諸部團隊長ニハ動員ノ際之ヲ送付スルコトヲ得

第二十五條 諸部團隊長ハ前條ノ區分表ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管シ歸郷旅費計算ノ用ニ供スヘシ

第二十六條 師團長ハ平時豫メ召集諸費仕拂請求書ヲ作り置クヘシ

第二十七條 仕拂命令官ハ平時ニ於テ仕拂命令發行ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第二十八條 陸軍大臣ハ平時ニ於テ召集諸費ノ豫算要求書及仕拂豫算計算書ヲ作り置キ充員召集若ハ補充召集ニ際シ其ノ要求書ハ大藏大臣ニ送付シ其ノ裁定濟ノ通知ヲ得テ即時當該師團長及仕拂命令官ニ令達シ其ノ計算書ハ大藏省、會計檢査院及仕拂命令官ニ送付ス

補充召集ニ際シ前回召集諸費ノ殘金ヲ以テ支拂ヲ爲シ能ハサルトキハ師團長所要ノ金額ヲ申請スルモノトス

第二十九條 師團長ハ前條ノ令達ヲ受ケタルトキハ動員ノ區分ニ應シ召集諸費概算

表ノ金額ニ基キ現金前渡ノ仕拂命令官ニ請求スヘシ

第三十條 仕拂命令官ハ前條ノ請求書ヲ調査シ直ニ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ送金ニ係ハルモノハ電信ノ便アレハ電信送金ト爲スヲ要ス

第三十一條 出納官吏及分任出納官吏前條ノ仕拂命令ヲ受ケタルトキハ現金ヲ受領シ所要ノ仕拂ヲ爲スヘシ其ノ召集旅費ノ支給ヲ爲ストキハ第二十二條ノ受領證書氏名ノ下ニ捺印セシムヘシ若シ印章ヲ携帯セサル者アルトキハ拇印セシムルモ妨ナシ

前項ノ受領證書ニ記載シタル者ニシテ前渡金ノ決算ヲ爲ス迄ニ旅費ヲ支給セサル者アルトキハ朱線ヲ以テ其ノ氏名ヲ塗抹シ證印ヲ捺スヘシ

第三十二條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル事務ハ晝夜ヲ分タス之ヲ處辨シ其ノ通達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用キルモノトス其ノ使丁ヲ用キルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス

第三十三條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文ヲ至急官報ヲ以テ返電ス

ヘシ

第三十四條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル諸部團隊官衙及公署ノ往復書類ニハ動ノ字ヲ冠シタル番號ヲ附スルモノトス但シ必要ニ應シ動ノ字ノ下ニ他ノ文字ヲ加フルコトヲ得

第三十五條 充員召集補充召集實施ニ方リ其ノ諸費ニ係ル文書ヲ發送スルニハ動員用封筒第七様式ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第三十六條 出納官吏ハ前渡金受領ノ日ヨリ三十日內ニ會計檢査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ヲ仕拂命令官ニ送付シ其ノ仕拂殘金ハ仕拂命令官ノ返納告知書ヲ得テ金庫ニ納付スヘシ但シ返納告知書ヲ受ケサル前ニ於テ嗣後ノ召集アルトキハ其ノ殘金ヲ以テ支拂ヲ爲スヘキモノトス

分任出納官吏ノ仕拂計算書及證憑書類ハ主任出納官吏ニ提出シ該官吏ハ自己ノ計

算ニ併算スルモノトス

第三十七條 召集旅費ハ本籍地ヨリ到著地迄ノ里程ニ應シテ本籍地所屬ノ旅費支給區域ニ於ケル出納官吏ヨリ支給スルモノトス但シ必要ニ應シ本籍地支給區域外最寄ノ旅費支給所ニ於テ支給スルコトヲ得

演習召集又ハ教育召集中他ノ部隊ノ充員召集及補充召集ニ應スヘキ者ノ召集旅費ハ甲乙部隊間ノ順路ニ依リ演習召集又ハ教育召集部隊ニ於テ支給スヘシ其ノ部隊動員セサル場合ニ於テハ其ノ召集旅費ハ應召員本籍所管聯隊區司令官ノ請求ニ基キ充員召集及補充召集部隊所管ノ師團司令部ヨリ送付スルモノトス但シ演習召集又ハ教育召集中休暇ニテ歸省セル者ノ召集旅費ハ前項ニ依リ支給スルモノトス

第三十八條 到著地ニ到著シタル後ニ於テ召集旅費ヲ支給スル場合ニ於テハ召集部隊又ハ部隊ヨリ集合場ニ派遣シタル出納官吏又ハ分任出納官吏ヨリ支給スルヲ例トス

第三十九條 集合場ニ到著スヘキ應召員ニシテ事故ニ因リ直ニ召集部隊ニ到著スヘキ者其ノ他事故ニ因リ更ニ旅費ノ支給ヲ受クヘキ者ハ其ノ召集旅費ノ支給ヲ受ク

三十五年
七月省令
第二十四
號參看

へキ出納官吏又ハ分任出納官吏若ハ其ノ所在地最寄ノ出納官吏又ハ分任出納官吏ニ就キ其ノ旅費ノ支給ヲ受クヘシ
前項ニ依リテ召集旅費ヲ支給シタル者ハ直ニ其ノ金額氏名ヲ應召員ノ到著スヘキ部隊ニ通知スヘシ

第四十條 召集部隊長ハ途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リタル應召員ニ歸郷ヲ命スル場合ニ於テハ該部隊ヨリ其ノ滞在中ノ日當及歸郷旅費召集旅費ノ剩ヲ支給スルモノトス但シ應召員所在地ノ召集諸費出納官吏又ハ分任出納官吏ニ於テ之ヲ支給シ得ルトキハ其ノ旨ヲ通知シ之ニ支給ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 應召員中召集旅費ヲ受領シ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ該旅費ノ返納ヲ要スルトキ第三十六條ノ決算後ニ在テハ仕拂命令官ヨリ其ノ徴收ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四十二條 復員後ニ於テハ更ニ召集諸費概算表ヲ作ルモノトス但シ概算表調製以前ニ於テ充員召集ヲ實施スル場合ニ於テハ動員ヲ行ヒシトキニ於ケル第十五條又

ハ第十七條ノ概算表ニ依ルモノトス

第四十三條 臨時演習召集其他臨時ノ召集諸費支出ノ手續ハ第二條乃至第六條第八條第九條第二十九條乃至第四十一條ニ準據シ取扱フモノトス

第四十四條 定期演習召集、教育召集ニ應スル者ノ旅費及其ノ歸郷旅費應召中事故ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ノ旅費並補缺召集旅費ハ第三條乃至第六條第八條第九條第二十九條乃至第三十一條第三十六條乃至第三十八條第四十條及第四十一條ニ準據シ

取扱フヘシ但シ旅費額ハ諸部團隊聯隊區司令部ニ於テ計算シ普通ノ手續ヲ以テ仕拂命令官ニ請求スルモノトス

第三十六條ニ依リ出納官吏ノ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ハ聯隊區司令部ヲ經由スルモノトス

第四十五條 寄留地ニ於テ演習召集又ハ教育召集ノ許可ヲ受ケタル者並陸軍補充條例第五十九條第六十五條及第七十七條ニ依リ召集スルトキ之ニ支給スヘキ旅費ハ現住地ヨリ召集地迄ノ里程ニ應シ本人現住地所管ノ師團ヨリ支給スルモノトス

陸軍召集諸費支出規程

ソ一四

但シ召集中住居ヲ轉シタル者ト雖應召前ノ現住地迄ノ里程ニ應シテ歸郷旅費ヲ給ス

第四十六條 國民兵召集諸費ノ支出ニ關シテハ臨時之ヲ定ム

第四十七條 師團長ハ島嶼ニ於テ本規程ヲ實施スルコト能ハサルモノアルトキハ適宜ノ方法ヲ規定シ陸軍大臣ノ認可ヲ請クヘシ

第四十八條 師團長ハ師管内ニ新ニ轉籍シ來リタル者アルカ又ハ臨時歸休等ノ爲更

ニ召集諸費ヲ計算シ第十五條又ハ第十七條ノ概算表ニ追加スルノ必要ヲ生セントキハ其ノ都度追加スヘキ金額ヲ第十五條ニ準シテ陸軍大臣ニ差出スヘシ

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ施行ス但シ明治三十三年ニ限り第五條ノ期日ハ師團長ニ於テ適宜之ヲ延期スルコトヲ得
第一様式

明治何年度 何師管何郡(市)召集諸費概算表

何年何月何日
何郡(市)役所
何師團ノ分

費區	目分	金額			額計
		充員	召集	補充召集	
出張旅費					
郵便電信料					
使丁賃金					
計					

一 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號トス第二第三様式同シ
二 他ノ師團ノ召集ニ應スヘキ者アルトキハ師團毎ニ各別表ニ作ルヘシ第二第三様式同シ
三 艤船料等實費ヲ支給スルモノニシテ季節ニ依リ金額ニ高低アルモノハ其ノ最高價ヲ以テ計算スヘシ第二第三様式同シ
四 出張旅費ハ往復里程及滞在日數ニ依リ計算スルモノトス
五 出張旅費トハ召集諸費支給ニ要スル官吏ノ旅費ヲ云フ
六 本表ニ記載スルコト能ハサル事項ハ適宜備考欄ヲ設ケテ記載スヘシ以下諸様式同シ

陸軍召集諸費支出規程

ソ一五

第二様式

明治何年度 何聯隊區召集諸費概算表
第何師團何動員ノ分

何年何月何日
何聯隊區司令部圖

郡市 聯隊區	分	旅費		金額計	出納官吏官 (職)名	支出金庫
		上長官士官 充兵	下士兵卒補 雜費			
何市						
何郡						
何郡						
何聯隊區						
合計						

- 一 應召員ノ旅費ハ本籍地ヨリ編入部隊所在地若ハ集合場迄ノ里程ニ依リ計算スヘシ其ノ陸路海路ニ様アルモノハ陸路ニ依リ計算スヘシ
- 二 應召員ノ旅費ハ動員ノ區分ニ依リ召集旅費ノ出納官吏毎ニ現員ノ十分ノ二ニ當ル金額並集合場ニ到着スヘキ者ノ十分ノ一ハ直ニ召集部隊ニ到着スルモノトシ其ノ金額ヲ加算スヘシ但シ其ノ金額ハ現員中最遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ調査スヘシ

- 三 本表ハ出納官吏及金庫ヨリ現金直送ノ分任出納官吏ノ數ニ應シ各區畫ヲ増加シテ記載スヘシ第三様式モ之ニ準シ各區畫ヲ増加シテ記載スヘシ
- 四 他ノ聯隊區ノ郡市名ハ朱書スヘシ

第三様式

明治何年度何師管召集諸費概算表

何年何月何日
何師團司令部圖

府郡 市部團隊	分	金額		出納官吏官職名	支出金庫名 支出金額計
		何動員	何動員		
何市					
何郡					
何郡					
何聯隊區					
計					
何					何金庫 五三、〇〇〇
計					何金庫 一、四三、〇〇〇

第四様式 合計

明治何年度 何師管召集諸費概算表

何師團司令部

何府(縣)	府		區		金額	支出金庫
	縣	郡市區	分	分		
計						
計						
合計						

一 本表ハ充員召集補充召集ニ方リ各金庫ヨリ支出スヘキ總金額ヲ調査シ又兼テ金庫出納區域ニ相違ナキヤ否ヲ調査スル爲メ支出金庫別ニ調製スルモノトス故ニ
一金庫ノ出納區域内ニ在ル郡市區名ハ之ヲ一區畫内ニ記シ之ヲ一府縣ニ取纏メ
一師管一表ニ調製スルモノトス

- 二 前項ノ主意ナルニ依リ召集諸費ノ仕拂ヲ受クヘキ官衙、公署アルモ應名ヲ本表ニ掲ケス其ノ金額ハ該官衙公署所在地郡市區畫ノ金額ニ合算スルモノトス
- 三 第十八條ニ依リ大藏大臣ニ送付スルモノハ本様式ニ依ル第五様式

召集旅費受領證書

何聯隊區何府縣何郡(市)(町)(村)

何師團何動員ノ分

一金

何隊到著ノ部

内譯

住所	里數	旅費官(兵種等級)	受領者氏名印
島郡市町村			
何町村	何里	何圓何錢	何
何町村	何里	何圓何錢	何
何村	何里	何圓何拾錢	何

右之通支給候也

明治何年何月何日

出納官吏(分任出納官吏)氏

名印

陸軍召集諸費支出規程

ソ二〇

- 一 本證書ハ動員區分ニ依リ召集部隊毎ニ作ルモノトス但シ同一召集部隊ニシテ到着地ヲ異ニスルモノハ其ノ到着地毎ニ作ルモノトス
- 二 合計金額及出納官吏、分任出納官吏ノ氏名ハ支給ノ際記入スルモノトス
- 三 代人ヲ以テ受領スルモノハ受領者氏名ノ欄内本人氏名ノ左方ニ代人ノ氏名ヲ記入スルモノトス
- 四 里數ハ里ニ止メ町以下ヲ記載セサルモノトス

第六様式

召集旅費區分表

何年何月何日
何聯隊區司令部郡(市)役所

町	何	町名	區分		到		著		地		
			官等級	分	召集部隊名	召集部隊名	里	金額	里	金額	里
			上長官士官								
			准士官								
			下士兵卒補充兵								

何村

- 一 里程及金額ハ市町村ヨリ到着地ニ到ル里程及金額(各一人ノ額)トス其集合場ヲ經テ應召スル者ノ里程及金額ハ集合場迄ノモノヲ墨書シ其傍ニ集合場ヲ經スルヲ召集部隊ニ到ルモノヲ朱書スヘシ第二十四條ニ依リ調製スル表面ニハ其朱書ノ數ノミヲ探リ墨書スヘシ
- 二 船舶料等實費ヲ支給スヘキモノニシテ季節ニ依リ高低アルモノハ何錢乃至何錢ト朱書シ備考欄ニ「何月何日ヨリ何月何日迄何錢何月何日ヨリ何月何日迄何錢」ト記載スヘシ
- 三 同一地ニ數部隊屯在スルモノニ在テハ其ノ召集部隊名ヲ同一區畫内ニ列記スヘシ

陸軍召集諸費支出規程

ソ二一

第七様式

動第 號 通	受領時刻	月 日 午前 時 分
	受領證	

- 一 封筒用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

●太政官布告第四十三號 (明治十五年八月十二日)

徵發令

徵發令別冊ノ通制定ス

(別冊)

徵發令

- 第一條 徵發令ハ戰時若クハ事變ニ際シ陸軍或ハ海軍ノ全部又ハ一部ヲ動カスニ方
リ其所要ノ軍需ヲ地方ノ人民ニ賦課シテ徵發スルノ法トス
但平時ト雖モ演習及ヒ行軍ノ際ハ本條ニ准ス
- 第二條 徵發ハ陸軍若クハ海軍官憲ノ徵發書ヲ以テ之ヲ行フ
- 第三條 左ニ記列スル官憲ハ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス
 - 一 陸軍卿海軍卿鎮臺司令官及ヒ鎮守府長官
 - 二 陸軍ニ於テハ特命司令官軍團長師團長旅團長分遣隊長若クハ演習及ヒ行軍ノ
軍隊長
 - 三 海軍ニ於テハ特命司令官艦隊司令官艦隊司令官分遣艦長若クハ操練及ヒ航
海ノ艦隊司令官又ハ艦長

徵發令

ツ一

第四條 徵發ス可キモノ、種類ニ依リ徵發區會社モ之ヲ定ムルコト左ノ如シニ准ス

一 第十二條第一項ハ 府 縣

二 第十二條第二項及ヒ第三項ハ 郡 區

三 第十二條第四項以下各項及ヒ第十三項各項ハ 町 村

四 船舶會社所有ノ船舶及ヒ鐵道會社所有ノ汽車ハ 會 社

第五條 徵發ス可キモノハ徵發區内ニ現在スルモノニ限ル

第六條 徵發書ハ徵發區ニ從ヒ府知事縣令郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店

長ニ付ス可シ

第七條 徵發書ヲ受ケタル府知事縣令郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ハ

時期ヲ誤ルコトナク其供給ヲ完全セシムルノ責アルモノトス

第八條 各徵發區ニ於テハ臨時徵發ニ應ス可キ便宜ノ方法ヲ豫定ス可キモノトス

第九條 徵發ヲ課セラレタルモノハ時期ニ違フコトナク之ヲ供給スルノ義務アルモ

ノトス若シ其時期ニ違フトキハ府知事縣令郡區長戸長他ノ方法ヲ以テ調達シ爲メ

ニ生シタル費用ハ本人ヲシテ之ヲ辨償セシム但會社ニ係ルモノハ陸海軍官憲直ニ

其處分ヲ爲スヘシ

第十條 徵發ヲ課セラレタルモノ商用其他ノ事故ヲ以テ供給ヲ拒ミ又ハ供給ス可キモノヲ藏匿シタルトキハ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十一條 供給ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ其受領證票ヲ府知事縣令郡區長戸長若クハ

停車場長船舶會社ノ店長ニ交付スヘシ

第十二條 徵發ス可キモノ左ノ如シ

一 米麥秣藳鹽味噌醬油漬物梅干及ヒ薪炭

二 乘馬馱馬駕馬車輛運搬ニ供スル獸類及ヒ器具

三 人夫

四 宿舍概圍及ヒ倉庫

五 飲水石炭

六 船舶

七 鐵道汽車

八 演習ニ要スル地所

九 演習ニ要スル材料器具

第十三條 戰時若クハ事變ニ際シテハ第十二條ノ諸項ニ掲クルモノ、外徵發ス可キ

モノ左ノ如シ

但平時ノ演習及ヒ行軍ニハ徵發スルコトヲ得ス

- 一 造船工作所及ヒ軍事ノ工作ニ要スル材料器具
- 二 職工鑛夫洗濯人ノ類
- 三 被服裝具艸鞋兵器彈藥船具寢具藥劑治療器械及ヒ綑帶具
- 四 水車搗春ノ類
- 五 病院

第十四條 第十二條第二項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノ左ノ如シ

- 一 皇族所用ノ車馬
- 二 外國公使館並ニ領事館ニ屬スル車馬
- 三 乘馬本分タル職務ニ要スル馬匹
- 四 郵便用ノ車馬
- 五 公認セラレタル種牛種馬

第十五條 第十二條第四項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノ左ノ如シ

- 一 公務ニ屬スル廳署

二 皇族ノ邸宅

三 外國公使館領事館及ヒ其所屬館

四 鐵道電信郵便ノ建造物

五 陸海軍將校並ニ同等官現在ノ家屋

六 博物館書籍館

七 病院盲啞院棄兒院

八 學校但臨戰合圍地境內ニ在リテハ此限ニ在ラス

九 製造場内機械室

第十六條 第十二條第二項ニ掲クルモノ、使用ハ其原用ヲ轉シテ他用ニ供スルヲ許

サス但戰時若クハ事變ニ際シテハ此限ニ在ラス

第十七條 第十二條第二項ニ掲クルモノハ其差出場所ヨリ六里未滿ノ地ニ於テ使用
スルヲ例トシ一日ノ使用ハ六里ニ越ユルコトヲ得ス但戰時若クハ時變ニ際シテハ
六里以外ノ地ニ使用スルコトヲ得

第十八條 第十二條第四項ニ掲クルモノハ合圍地境內ヲ除クノ外居住者ノ起臥及ヒ
營業ニ必用ナル場所ヲ徵用スルコトヲ得ス但營業ニ必要ナルモ旅店等ハ此限ニ在ラ

第十九條 宿舍ノ廣狹ハ其地家屋ノ數ト隊伍ノ編成トニ從ヒ一定シ難シ故ニ臨時適宜ニ之ヲ定ム

第二十條 第十二條第四項ニ掲クルモノハ陸軍若クハ海軍ノ都合ニ依リ特ニ其場所ヲ指定スルコトアルヘシ

第二十一條 宿舍ヲ定メタルノ後ハ區町村ノ便宜ヲ以テ他ニ移轉セシムルコトヲ許サス廐園倉庫亦同シ

第二十二條 宿舍廐園ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ併セテ人馬ノ食飼ヲ供給ス可シ但駐軍三日以上ニ至ルトキハ第四日ヨリ食飼ハ陸軍若クハ海軍ノ自辨トス

第二十三條 第十二條第六項ノ徵發ニ係リ其乘載人馬ノ食飼ヲ要スルモノハ併セテ供給セシム

第二十四條 第十二條第六項及ヒ第七項ニ掲クルモノ戰時若クハ事變ニ際シ借切トシテ之ヲ徵用スルコトアル可シ

第二十五條 第十二條第二項第六項及ヒ第七項ニ掲クルモノハ其操業者ヲ併セテ徵用スルヲ例トス但時宜ニ依リ各個ニ分別シテ徵用スルコトヲ得

第二十六條 第十二條第六項ニ掲クルモノヲ操業者ト各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル但船橋及ヒ舢舨ニ充ツルモノハ此限ニ在ラス

第二十七條 第十二條第七項ニ屬スル汽車其屬具鐵道建築所用ノ材料器具及ヒ操業者ヲ各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル

第二十八條 第十三條第五項ニ掲クルモノハ陸海軍病院ノ補助トシテ徵用スルヲ例トス但合圍地境內ニ在リテハ全ク明渡サシムルコトヲ得

第二十九條 徵發ニ係ルモノハ第三十一條乃至第五十條ニ定ムル所ノ方法ニ從ヒ賠償ス

第三十條 徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルハ徵發區ノ義務トシ其輸送賃ヲ支辨セス

第三十一條 賠償ハ平時ト戰時トヲ論セス其時々之ヲ支辨スルモノトス但戰時若クハ事變ニ際シ紛擾ノ爲メ延滞シテ三ヶ月ヲ越ユルトキハ年六分ノ割ヲ以テ其利子ヲ付ス

第三十二條 賠償ハ徵發區毎ニ一括シテ府知事縣令郡區長戶長停車場長船船會社ノ店長ヨリ之ヲ請求スヘシ

第三十三條 徵發物件ノ其使用ノ爲メニ毀損シタルモノハ賠償ス其金額ニ付キ供給

者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

其毀損ハ持主若クハ操業者ヨリ速ニ其地ニ在ル陸海軍官憲若クハ戸長ニ届出可シ其届出ハ徵用濟引渡ノ後左ノ期限ヲ越ユ可カラス若シ其期限ヲ越ヘ又ハ期限中持主若クハ操業者ニ於テ使用セシトキハ無効トス

一 西洋形船舶

七日間

一 地所

評價委員ノ告示スル時日間

三 其他ノ物件

一日間

第三十四條 第十二條第一項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地市場ノ前三ケ年間ノ平均價ヲ取り之ヲ定ム其平均價ノ取り難キモノハ評價委員ノ評定ニ任ス

第三十五條 第十二條第二項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其郡區平常ノ賃價トス但物件ト操業者トヲ各個ニ分別シテ徵用シタルトキハ其郡區平常ノ雇賃及ヒ借賃ニ准シテ賠償ス

第三十六條 第十二條第三項ノ徵發ニ係ルモノヲ宿泊セシメ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ於テ使用スルトキハ第三十二條ノ例ニ拘ハラズ賃價ノ半額ヲ前給シ宿泊食飼ヲ官給ス但此場合ニ於テハ賃價ノ四分ノ一ヲ減ス

第三十七條 第十二條第二項及ヒ第六項ニ掲クルモノヲ買上タルトキハ勿論其他使用ノ都合ニ依リ價格ノ豫定ヲ要スルトキハ其金額ヲ定メ置クヘシ其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

第三十八條 第十二條第三項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五條ニ准シテ賠償シ第三十六條ヲ適用ス

第三十九條 第十二條第四項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ陸海軍省ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 第十二條第五項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地平常ノ代價トス

第四十一條 第十二條第六項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノ、外左ノ區別ニ從フ

區別ニ從フ

一 出船ノ定時アリテ定路ヲ航スルモノハ平常ノ定賃

二 定路ヲ航スルモ特ニ出船時日ヲ命シタルトキハ其乘載量五分ノ三ニ滿チタル以上ハ前項ノ例ニ準ス若シ之ニ滿タサルモ五分ノ三ニ値ル平常ノ定賃

三 出船及ヒ航路ノ定メナクシテ定賃ナキモノ又ハ運送ヲ以テ營業トセサルモノ等其賠償金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定額

第四十二條 第二十四條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者平常ノ給料航泊實費及ヒ

船舶ノ損料トス其損料ハ一ヶ月ニ各船舶買入代價六十四分ノ一トス

第四十三條 第二十六條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料船舶ニハ

第四十二條ノ損料トス但船橋及ヒ舢船ニ充テタルモノ、賠償金額ハ第四十一條第

三項ニ准ス

第四十四條 第十二條第七項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノ、外平常

ノ定賃トス

第四十五條 第二十七條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料物件ニハ

其地平常ノ代價若クハ損料トス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價

委員ノ評定ニ任ス

第四十六條 第十二條第八項ノ徵發ニ係ルモノハ其植物ニ損害ヲ加ヘ又ハ地形ヲ變

更シタルトキニ限り賠償ス其金額ハ評價委員ノ評定ニ任ス

第四十七條 第十二條第九項ノ徵發ニ係ルモノハ其地平常ノ代價若クハ相當ノ損料

ヲ賠償ス

第四十八條 第十三條第一項第三項及ヒ第四項ノ徵發ニ係ルモノハ其地平常ノ代價

若クハ損料ヲ賠償ス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定

ニ任ス

第四十九條 第十三條第二項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五條ニ准シテ賠償シ第三十

六條ヲ適用ス

第五十條 第十三條第五項ノ徵發ニ係ルモノハ通常患者ノ例ニ從フテ賠償ス全ク明

渡サシムルトキハ第三十九條ノ例ニ准ス

第五十一條 徵發ヲ拒ミ或ハ規避シ或ハ漫リニ使役ヲ離レタルモノ及ヒ之ヲ教唆誘

導シタルモノハ一年以上以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附

加ス

第五十二條 徵發ノ命令ヲ受ケタル府知事縣令郡區長戸長停車場長船舶會社ノ店長

其處置ヲ爲サルモノハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ貳拾圓以上百圓以下ノ

罰金ヲ附加ス其懈怠ニ出ルモノハ貳拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十三條 徵發書ヲ出スノ權ヲ有スル官憲忘ニ徵發書ヲ出シ又ハ其權ヲ有セサル

官憲徵發書ヲ出シタルキハ一年以上四年以下ノ輕禁錮ニ處シ將校ハ劔官ヲ附加ス

●太政官布達第二十六號 (明治十五年十二月十八日)

徵發事務條例

徵發事務條例別冊ノ通之ヲ定ム

(別冊)

徵發事務條例

第一條 徵發事務條例ハ徵發令ニ基キ實際取扱ノ規準ヲ定ムルモノトス

第二條 陸軍若クハ海軍官憲ハ徵發區ノ大小遠近及ヒ供給方ヲ酌量シ供給ヲ受ク可
キ日時ヲ豫定シテ徵發書ヲ出ス可シ

第三條 徵發書ノ書式ハ附錄第一號ノ例ニ準ス但戰時若クハ事變ニ際シテハ電信ヲ
以テ徵發スルコトヲ得

第四條 徵發令第三條第二項及ヒ第三項中ニ掲クル特命司令官軍團長師團長艦隊司
令長官ハ時機ニ依リ其部下ノ各團長若クハ各艦隊司令官ニ徵發書ヲ出スノ權ヲ分
任スルコトヲ得

第五條 徵發令第三條第二項中ニ掲クル特命司令官軍團長師團長旅團長分遣隊長第
三項中ニ掲クル特命司令官艦隊司令官分遣艦長ハ其獨立中ニ限り徵

廿三年九月廿六日
勅令第九十六號
參看

發書ヲ出スノ權ヲ有ス故ニ師團長艦隊司令官ト雖モ軍團若クハ二艦隊以上ニ編制セラレタルキハ徵發書ヲ出スノ權ナシ其軍團長若クハ隊艦司令官ノミ之ヲ有ス

第六條 徵發令第三條第二項中ニ掲クル演習及ヒ行軍ノ軍隊長トハ諸團隊ヲ統フル長以上ヲ言ヒ第三項中ニ掲クル操練及ヒ航海ノ艦隊司令官トハ諸艦ヲ統フル長ヲ言ヒ艦長トハ先任艦長又ハ獨立艦長ヲ言フモノニシテ其長ノミ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス但陸軍演習若クハ海軍操練ノ時一ノ總指揮官ヲ置クト雖トモ其部下ノ團隊若クハ各艦往返發著ノ地ヲ異ニスルトキハ往返中ニ限り其團隊長若クハ艦長各自ニ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス

徵發令第三條第二項中ニ掲クル師團長ニハ近衛總督、旅團長ニハ屯田兵司令官ヲ包含ス

第七條 徵發ニ應シタル人員ハ勉メテ彈丸ノ達セサル場所ニ於テ之ヲ使用ス可シ

第八條 徵發物件其徵發ヲ課セラレタル地ニ現在スルモ其所有者又ハ其支配人不在ナルトキハ戶長及ヒ證人二人其町村内ニ住スル親族又ハ預リ主又ハ同立會ノ上其物件ヲ調査シ供給セシム可シ

第九條 徵發ヲ課セラレタルモノハ徵發令第十二條第六項第七項第八項第十三條第一項中造船所工作所第四項第五項ノ物件及ヒ第二十條ノ場合ヲ除クノ外其現在ノ所有品ヲ供給セサルモ便宜ニ從ヒ他ノ同品種ノモノヲ以テ換給スルコトヲ得其徵發ニ應ス可キ人員亦同シ

第十條 徵發書ハ徵發令第六條ニ依リ府知事縣令郡區長戶長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ付ス可シト雖モ臨戰若クハ合圍ノ地ニ在テ時機切迫シタル場合ニ於テハ府縣ニ付ス可キモノヲ郡區又ハ町村ニ付シ郡區ニ付ス可キモノヲ町村ニ付シ店長ニ付ス可キモノヲ艦長ニ付スルコトアルヘシ

右ノ手續ヲモ爲ス能ハサル場合ニ於テハ徵發書ヲ出スノ權アル官憲ヨリ直ニ人民ニ賦課シテ徵發スルコトアル可シ但此場合ニ於テハ徵發書ヲ用ヒス本人ニ受頭證票ヲ交付スルニ止ル

本條ノ場合ニ於テハ徵發ヲ行ヒタル官憲定例ノ順序ニ從ヒ府知事縣令郡區長戶長若クハ店長ニ其旨ヲ通知スヘシ

徵發令第十二條第二項ノ物件ニ限り場合ニ依リ徵發書ヲ北海道廳長官府縣知事ニ付スルコトヲ得

第十一條 徵發ノ命令ヲ受ケタルモノハ晝夜ヲ別タス速ニ其處置ヲ爲ス可シ

第十二條 徵發書ヲ受ケタル徵發區ニ於テ賦課ノ數ニ不足スルトキハ速ニ供給ヲ受ケ可キ官憲ニ報告ス可シ

町村ニシテ郡區長ヨリ徵發ノ賦課ヲ受ケ郡區ニシテ府知事縣令ヨリ徵發ノ賦課ヲ受ケタルトキハ其賦課ノ數ニ滿ル能ハサルニ於テハ戶長ハ郡區長ニ郡區長ハ府知事縣令ニ速ニ其旨ヲ報告ス可シ但此場合ニ於テハ陸海軍官憲若クハ府縣廳郡區役所ヨリ吏員ヲ派出シ検査セシムルコトアル可シ

郡區長府知事縣令其報告ヲ受ケタルトキハ郡區長ハ他ノ町村ニ府知事縣令ハ他ノ郡區ニ賦課シテ供給ヲ完全セシム可シ

第十三條 府知事縣令徵發令第十二條第一項ニ係ル徵發書ヲ受ケタルトキハ速ニ其賦課シタル郡區ノ名及ヒ量數ヲ陸海軍官憲ニ報告ス可シ

第十四條 府知事縣令郡區長及ヒ戶長ハ徵發令第八條ニ從ヒ徵發ニ應スル便宜ノ方法ヲ豫定ス可シ

第十五條 徵發ヲ課セラレタルモノ供給ノ時期ニ違ヒタルトキハ徵發令第九條ニ照シ處分ス可シト雖トモ正當ノ事由ヲ證明シタルトキハ賠償セシムルノ限ニアラス

第十六條 徵發令第十一條ニ掲クル受領證票ハ附錄第二號雛形ニ依リ調製ス可シ

第十七條 受領證票ハ徵發令第十二條第一項第五項ノ物件及ヒ總テ買上ケニ屬スル物件ニ係ルトキハ領收ノ際直ニ之ヲ交付シ其他ハ徵發令後之ヲ交付ス可シ但徵發令後交付スル場合ニ於テハ同令第十二條第四項第七項第八項第十三條第一項中造船所工作所第四項及ヒ第五項ニ掲クルモノヲ除クノ外當初領收ノ際假受領證ヲ交付ス可シ

第十八條 徵發令第十二條第二項第三項及ヒ第十三條第二項ニ掲クルモノヲ宿泊セシメテ連日使用シ若クハ六里以外ノ地ニ於テ使用スルトキ並ニ同令第十二條第六項ニ掲クルモノ船及ヒ船橋ヲ除クヲ借切トシテ徵發令トキハ特ニ本人若クハ操業者ニ受領證票ヲ交付スルコトアルヘシ

第十九條 徵發令第十五日以上ニ及フモノハ一個月ニ一回若クハ二回期ヲ定メテ受領證票ヲ交付ス可シ

第二十條 徵發令第十二條第一項ニ掲クルモノ、徵發ヲ賦課スルハ其物品ノ營業者ヲ先トシ尙ホ完全セサルトキニ限り他ノ人民ニ賦課ス可シ其賦課ニ就テハ其地方及ヒ所有者ヲシテ困乏ニ陥ヒラサシムル爲メニ相當ノ分量ヲ各所有者ノ許ニ殘シ置ク可シ其分量ハ其地運送ノ便否及ヒ生計ノ現況ヲ酌量シテ之ヲ定ム可シト雖

モ此ニ其最下限ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 營業者所有ノ物品ハ徵發書ノ日付ヨリ前十日間ニ其府縣内ニ賣拂ヒタル量但所有者ノ帳簿ニ基キ算定ス可シ

二 他ノ人民所有ノ物品ハ其一家ニ要スル十日間ノ量

三 秣藁ハ其家畜ニ要スル七日間ノ量

第二十一條 郡區市長島司ハ陸軍省ノ定ムル雛形ニ依リ各區域内ニ於ケル家屋、人口、職業、建物、船舶等ニ關スル表ヲ調製シ之ヲ北海道廳府縣廳ニ差出スヘシ

鐵道局長及鐵道會社社長ハ陸軍省ノ定ムル雛形ニ依リ毎年十二月三十一日調ヲ以テ鐵道表ヲ製シ翌年三月三十一日限り同省ヘ送付スヘシ又新ニ鐵道ヲ布設シ若ハ改築シタルトキハ其時時鐵道表ヲ製シ陸軍省ヘ送付スヘシ

第二十二條

第二十三條

第二十四條 北海道廳長官府縣知事ハ陸軍省ノ定ムル雛形ニ依リ三箇年毎ニ牛馬、車輛及同屬具表及物產收穫表ヲ製シ郡區市長島司ヨリ差出シタル表ト共ニ翌年三月三十一日限り陸軍省ヘ送付スヘシ

削除
同前

三十一年
十一月
令第三百
三十三號
參看

第二十五條 北海道廳長官府縣知事ハ海軍省ノ定ムル雛形ニ依リ工場表ヲ製シ毎年三月三十一日限り海軍省ヘ差出スヘシ

北海道廳長官府縣知事ハ海軍省ノ定ムル雛形ニ依リ汽船表ヲ製シ毎年三月三十一日限り新ニ造リ若ハ新ニ買入タル船舶アル時ハ其時時海軍省ニ送付スヘシ但シ海軍大臣ハ便宜ニ依リ船舶會社ヲシテ直ニ送付セシムルコトヲ得

第二十六條 徵發令第十二條第二項第六項第七項ニ掲ケルモノハ總テ使用ノ爲メニ必用ナル屬具ヲ併セテ供給スヘキモノトス故ニ其屬具ニ對スル賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十七條 徵發令第十二條第六項ニ掲ケル船舶中郵便船ニ限り其通信ノ用ニ供スル間ハ之ヲ借切ルコトヲ得ス又出船ノ定期若クハ航路ヲ變シテ徵用スルコトヲ得ス

第二十八條 徵發令第十八條中居住者ノ起臥ニ必要ナル場所トハ寢所及ヒ庖廚ヲ指シ營業ニ必要ナル場所トハ商估ノ店舗農工ノ仕事場ヲ言フ又旅店等トハ料理店貸座敷廩ヲ包含ス

第二十九條 宿舍ノ廣狹ハ徵發令第十九條ニ從ヒ臨時ニ定ムルモノナリト雖モ戶長ニ於テ賦課ノ際標準ト爲ス可キモノヲ概定スルコト左ノ如シ

- 一 廨署 陸海軍官憲ヨリ指示スル所ノ室若クハ家屋
 - 二 將官其參謀部ト共ニ 一家屋
 - 三 上長官又ハ同等軍屬一名 一室
 - 四 士官又ハ同等軍屬二名 一室
 - 五 下士又ハ同等軍屬一名 一疊半乃至二疊
 - 六 卒又ハ同等軍屬一名 一疊乃至一疊半
 - 七 徵發ニ應シタル人員三名 二疊
- 第三十條 戶長ハ陸海軍ノ宿割主任官ニ商議シテ適宜ニ宿舍ノ配當ヲ定ムヘシ
- 第三十一條 徵發令第二十一條ニ從ヒ町村ノ便宜ヲ以テ他ニ轉移セシムルコトヲ許サスト雖モ若シ該家ニ病者死者等アルトキハ戶長他ニ相當ノ宿舍ヲ設ケテ轉移ヲ請求スルコトヲ得但之カ爲メ徵發令第廿二條ニ掲クル日限ヲ更新スルモノニアラス
- 第三十二條 徵發令第二十二條ニ從ヒ人馬ニ供給ス可キ食飼ノ定量大率ネ左ノ如シ

- ト雖モ陸海軍給與ノ規則ニ依リ定量以內ヲ以テ臨時ニ變換或ハ減少スルコトアルヘシ
- 一 人 精米每食二合 朝夕飯一汁一菜漬物 午飯一菜漬物
 - 二 馬 駐軍中 朝大麥二升秣藭五百目喰藁百五十目 晝秣藭五百目喰藁百五十目夕大麥二升秣藭五百目喰藁二百目
- 演習及ヒ行軍中 朝大麥二升秣藭五百目 晝大麥一升 夕大麥二升秣藭一貫目喰藁五百目
- 小麥ヲ大麥ニ喰藁ヲ秣藭ニ代用スルトキ 朝小麥一升喰藁一貫目 晝小麥五合 夕小麥一升五合喰藁二貫目
- 搗麥又ハ裸麥ヲ大麥ニ喰藁ヲ秣藭ニ代用スルトキ 朝搗麥又ハ裸麥一升喰藁一貫目 晝搗麥又ハ裸麥一升夕搗麥又ハ裸麥二升喰藁一貫目
- 寢藁ハ軍馬一頭ニ付一日一貫目ヲ要スルモノトス
- 第三十三條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ室内所要ノ燈火並ニ其地ノ慣用ニ從ヒ地燼若クハ火鉢薪炭每室ニ一個ヲ給ス可シ其賠償ハ宿舍ノ賠償金額中ニ包含ス
- 第三十四條 寢具ノ徵發ニ係ル賠償ハ宿舍ノ賠償金額中ニ包含セス徵發令第四十八

條ニ從ヒ賠償ス

第三十五條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノ公有家屋社寺亦同シ 食飼ニ供ス可キ物品又ハ手傳人不足シ供給ヲ爲シ能ハサルノ證アルトキハ戶長ニ於テ賄ノ受負ヲ立ツル歟若クハ物品及ヒ手傳人ヲ其本人ニ供スル等ノ取扱ヲ爲シ其方法ハ本條例第十四條ニ准ス可シ

第三十六條 町村ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ニ要スル食飼ノ物品不足スルトキハ戶長ニ於テ其物品ヲ供ス可シ但航海先ニ於テハ本條例第三十七條ニ准シテ處分ス可シ

第三十七條 會社ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ノ食飼ヲ供給スルコト能ハサルヲ證明スルトキハ現品ヲ官給シ其費用ハ賠償金ヲ以テ差引ヲ立ツ可シ

第三十八條 食飼ノ定賃ナキ船舶ヲ徵用シ船主船長ヲシテ其食飼ヲ供給セシムルトキハ陸海軍官憲ニ於テ其時時賠償金額ヲ定ム可シ其借切トシテ徵用シタルトキ亦同シ

第三十九條 徵發物件ノ差出場所ハ各徵發區内ニ設クルヲ定例トス但時宜ニ依リ徵發區外ニ設クルコトヲ得

差出場所ハ陸海軍官憲之ヲ指定ス

第四十條 徵發區ハ徵發令第三十條ニ從ヒ徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルノ義務アルヲ以テ之カ爲メニ生シタル費用ハ其區ノ負擔トスヘキモノトス但差出場所ヲ徵發區外ノ地ニ設ケタルトキハ其區外ニ係ル輸送賃ハ當該官憲ヨリ賠償スヘシ

第四十一條 郡區長ハ徵發人馬ノ供給ヲ便宜ニセンカ爲メ豫テ隣郡區長ト商議シ近傍町村ヲ適宜ニ割合ヒ組合町村ヲ定ムルヲ得

第四十二條 賠償金請求ノ月日及ヒ場所ハ供給ヲ受ケシ陸海軍官憲ヨリ之ヲ其府知事縣令郡區長戶長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ指示ス可シ

第四十三條 府知事縣令郡區長戶長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ハ附錄第六號ノ例ニ准シ賠償金計算書ヲ調製シ陸海軍官憲ヨリ交付ノ受領證票ヲ添ヘ其請求ヲ爲ス可シ但徵發令第三十六條及ヒ第二十八條ニ掲クルモノアルトキハ其計算書ニ別項ヲ設ケテ差引ヲ立ツ可シ又評價ニ屬スル件目ノ賠償ハ別途ニ支給スルヲ以テ該件目ニ就テハ評價ノ二字ヲ記載ス可シ

第四十四條 徵發令第三十一條ニ定ムル三箇月ノ期限ハ受領證票ヲ交付シタル月ヨリ起算ス但陸海軍官憲ヨリ指示セシ請求ノ月日若クハ場所ヲ其請求者ニ於テ誤リ

タル爲メ又ハ賠償金計算書ノ違算若クハ不合式ニ依リ推問往復ノ爲メニ消費シタル時日ハ算入セス

第四十五條 徵發令第十二條第二項及ヒ第三項ノ徵發ニ係ルモノヲ終日若クハ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ使用スルトキハ日割ヲ以テ賠償シ其他ノ場合ニ於テハ里程ニ應シテ賠償ス

若シ差出場所ニ集合シタルモノ官ノ都合ニテ不用トナリタルトキハ日割ヲ以テ賠償ス可キモノハ半日分ヲ給シ里程ニ應シテ賠償ス可キモノハ其半額ヲ給ス

第四十六條 徵發物件ノ毀損シタルトキハ徵發令第三十三條ニ從ヒ其使用ヲ主管スル陸海軍官憲ニ届出可シ若シ引渡ヲ受ケタル後毀損ヲ發見セシトキハ其引渡ヲ爲セシ陸海軍官憲ニ届出可シ其官憲既ニ出發セシトキハ戶長ニ届出可キモノトス

第四十七條 毀損ノ届出ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ直ニ之ヲ調査シ其毀損果シテ使用ヨリ生シタルモノト檢定シタルトキハ其賠償金額ニ就キ供給者ト商議ス可シ若シ調和セサルトキハ評價委員ニ付ス可シ

戶長若シ毀損ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ檢査シ其調査書ヲ作り 供給者ノ請求金額アルモノハ之 其關係ノ陸海軍官憲ニ差出ス可シ但調査書ニハ毀損ノ事由實況並ニ請求

金額ニ係ル自己ノ意見ヲ記ス可シ

第四十八條 徵發令第三十三條ニ掲クル期日ヲ超エタル届出ハ之ヲ受理ス可カラズ但變災厄難ニ罹リタルノ確證アルモノハ其變災厄難ヲ免レタル時ヨリ期日ヲ算ス可シ

第四十九條 徵發令第三十四條ニ從ヒ北海道廳長官府縣知事ハ陸軍省海軍省協議ノ上定ムル雛形ニ依リ其管下市場三箇所以上ノ前三年間ノ平均物價表ヲ調製シ毎年三月三十一日限リ陸海軍省ニ差出スヘシ

第五十條 徵發令第三十五條中平常ノ賃價トアルハ戰時若クハ事變ニ際シテハ勿論演習又ハ行軍ノ際ニ於テモ之カ爲メ臨時ニ騰貴セサル以前ノ賃價ヲ言フ

徵發令中平常ノ賃價トアルモノハ皆此例ニ依ル

第五十一條 徵發令第三十五條及ヒ第三十八條ニ掲クル平常ノ賃價雇賃借賃ハ郡區長確認ノ上供給ヲ受クル所ノ陸海軍官憲ニ申出可シ

其他徵發令中ニ掲クル平常ノ賃價損料及ヒ代價ハ戶長ヨリ陸海軍官憲ニ申出可シ

第五十二條 徵發令第三十九條ニ從ヒ陸海軍省ニ於テ定ム可キ所ノ賠償金ハ兩省同額タル可シト雖モ本條第三十二條ニ從ヒ臨時ニ食飼ノ定量ヲ變換若クハ減少スル

ニ於テハ其現量ニ從ヒ賠償ス可シ

第五十三條 徵發令第四十二條中航船實費トハ石炭油脂其他日用消耗品ノ航船中現ニ消耗シタルモノノ代價ニシテ其物品ヲ船舶ニ積入レタルトキノ現價ニ依リ計算ス可キモノトス

第五十四條 徵發物件ノ毀損其使用ノ爲メニ非サルモノ及ヒ操業者ノ過失ニ出ルモノハ賠償セス但船舶ヲ借切トシテ徵用シタルトキ並ニ物件ヲ操業者ト分別シテ徵用シタルトキノ毀損ハ總テ之ヲ賠償ス

第五十五條 評價委員ハ陸軍若クハ海軍官憲二名徵發區ニ從ヒ府縣郡區吏員若クハ戸長一名及ヒ其町村評價ヲ爲ス場所ノ住民ニシテ其事件ニ熟達シタルモノ若シ熟達シタルモノナキト

キハ他町村ノ住民ヲ二名若クハ四名ヲ以テ編制シ其評價ハ多數ニ依テ決ス

鐵道會社船舶會社ニ屬スルモノ及ヒ大演習ノ爲メニ生シタル地所ノ損害ニ係ル評價委員ハ陸軍若クハ海軍官憲二名府縣吏員一名及ヒ其事件ニ熟達シタル人民二名若クハ四名ヲ以テ編制ス

第五十六條 評價委員ニ採用ス可キ人民ハ其事件ニ關係ナキモノニシテ地方吏員若クハ戸長ニ於テ選舉ス可キモノトス
其選舉セラレタルモノハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルヲ得ス

第五十七條 其選舉セラレタルモノニハ陸軍若クハ海軍ヨリ該府縣會議員ト同一ノ旅費日當ヲ給ス可シ

第五十八條 評價ノ爲メ府縣郡區吏員若クハ戸長ノ派出ヲ要スルトキハ其事件ニ關係ノ陸海軍官憲ヨリ之ヲ府知事縣令郡區長若クハ戸長ニ通達ス可シ

第五十九條 評價ノ方法ハ評價ス可キモノノ種類ニ從ヒ精密ニ調査シ其價額ヲ評定スルヲ要トス左ニ地所損害ニ關スル評價ノ一例ヲ掲ク

演習ノ爲メ地所ノ損害ヲ届出タルトキハ評價委員ニ於テ實況ヲ查覈シ其請求スル所ノ賠償金額ノ當否ヲ審ニシ相當ナルトキハ直ニ之ヲ認可シ若シ其請求ノ金額定マラス或ハ過當ナリト認ムルトキハ實測スヘシ

評價委員ハ評價畢ルノ後左ニ掲クル要目ニ准シ所有主毎ニ評價明細書ヲ製ス可シ

- 一 評價ノ事項及ヒ事由
- 二 委員ノ氏名
- 三 地面ノ廣袤ハ何ヲ以テ定メタルヤ何圖面何書類ニ依リタ金額ノ算出ハ如何ナル方法ニ依リタルヤ其季ノ收穫皆無タルニ依リ其植物ノ前何年平均ヲ以テ賠償金ヲ定メタル歟其損害ノ度幾分ニ止マリ其幾

分ニ係ル賠償金額ヲ全部收穫ノ前何年平均額ヨリ算出シタルカ植物生熟ノ度ニ從ヒ其平均收穫量ニ應シ賠償ス可キ金額中ヨリ幾分ノ手間賃及ヒ肥料ヲ扣除シタル歟又永存ノ草木ニシテ毎年收穫アルモノ損害ヲ受ケタルトキハ其損害ノ收實ニ止マルト枝幹ニ係ルモノトニ從ヒ一年若クハ幾年分ノ收穫ヲ見込ミ賠償金額ヲ定メタル歟ノ類

第六十條 評價委員ハ評價明細書ヲ製シ府知事縣令郡區長若クハ戶長ニ交付ス可シ府知事縣令郡區長若クハ戶長ハ其明細書ニ依リ賠償金計算書ヲ作り陸海軍官憲ノ指示スル場所ニ就テ賠償金額ヲ請求ス可シ

附錄第一號ノ一

徵發書

一 宿舍 麻署用 將官幾人 上長官幾人
 士官幾人 下士幾人 兵卒幾人
 右ハ某月某日ヨリ某月某日迄徵用
 一 庭園 幾匹分
 右、
 一 倉庫 幾坪
 右、

一 解船

幾艘

右、

一 何々

、

右、

前書ノ通徵用候條其町(村)ニ於テ遲滯ナク供給可致候事

年 月 日

何々長

官 姓

名 印

某府(縣)某郡(區)

某町(村)戶長役場宛

備考 徵發書ノ料紙ハ美濃罫紙タル可シ

附錄第一號ノ二

徵發書

一人夫

幾人

右内

幾人ハ某月某日時某地ニ差出シ某地迄徵用
 幾人ハ某月某日時某所ニ差出シ幾日間徵用

一 馱馬

幾匹 馬士共

右内

幾匹、、、

幾匹、、、

一 何々

右内

何、、、

一 何々

右内

何、、、

前書ノ通徵用候條其郡(區)ニ於テ遲滯ナク供給可致事

年月日

何々長
官 姓

名 印

某府(縣)

某郡(區)役所宛

附錄第一號ノ三甲

徵發書

一 汽船

船名

一 西洋形風帆船

船名

右某月某日ヨリ借切徵用候條某港ニ於テ遲滯ナク供給可致事

年月日

何々長
官 姓

名 印

某會社某地店長宛

附錄第一號ノ三乙

徵發書

一 將校並同等官

幾名

一 下士卒並同等

幾名

一 馬

幾匹

一 車

幾輛

一 荷物畧計

幾噸

右ハ某月某日某港出帆ノ何號船ヲ徵用シ(又ハ其社所有ノ何號船ヲ徵用

徵發事務條例

子一〇

シ某月某日某港出帆(某港ニ運送爲致候條遲滯ナク供給可致事

年月日

何々長

官姓

名印

某會社某地店長宛

附錄第一號ノ四

徵發書

一上等

幾名内幾名ハ某地迄餘ハ某地迄

一中等

幾名内、、、

一下等

幾名内、、、

一馬

幾匹内幾匹ハ某地迄餘ハ某地迄

一車

幾輛内幾輛ハ、、、

一荷物畧計

幾噸内幾噸ハ、、、

右ハ通常(特別)瀛車ヲ徵用シ某月某日時發車ヲ以テ某地へ運送候條遲滯ナク供給可致事

年月日

何々長

官姓

名印

鐵道會社某地停車場長宛

附錄第一號ノ五

徵發書

一玄米

幾百石

一精米

幾拾石

一薪

幾貫目

一何々

、、、

一何々

、、、

右徵用候條某月某日限り供給可有之事

年月日

何々長

官姓

名印

某府(縣)宛

附錄第一號ノ六

徵發書

一某府(縣)某郡(區)某町(村)近傍

右某月某日演習ノ爲メ徵用候事

年月日

何々長

徵發事務條例

子一一

某町(村)戸長役場宛

官 姓 名 印

附録第二號ノ一

受領證票

一 宿舍 廨署用 將官幾人 上長官幾人
士官幾人 下士幾人 兵卒幾人

右ハ某月某日ヨリ某月某日迄徵用

一 廐圍 幾匹分

右、、、

一 倉庫 幾坪

右、、、

一 舩船 幾艘

右、、、

一 何々 、、

右、、、

前書ノ通徵用候也

年 月 日

何々長 官 姓 名 印

某府(縣)某郡(區)

某町(村)戸長役場宛

備考 受領證票ハ總テ存留證票ノ式タルヘシ

附録第二號ノ二

受領證票

一人夫 幾人

右内

幾人ハ某月某日時某地ニ差出シ某地迄徵用

幾人ハ某月某日時某所ニ差出シ幾日間徵用

一 馱馬 幾匹 馬士共

右内

幾匹、、、

幾匹、、、

一 何々 、、

右内

何、、、
 一何々
 右内
 何、、、
 前書ノ通徵用候也
 年月日
 何々長
 官姓
 名印
 某府(縣)
 某郡(區)役所宛

附錄第二號ノ三甲

受領證票

一 汽船 船名
 一 西洋形風帆船 船名
 右ハ某月某日ヨリ某月某日迄借切徵用
 前書之通徵用候也
 年月日
 何々長
 官姓
 名印
 某會社某地店長宛

附錄第二號ノ三乙

受領證票

一 將校並同等官 幾名
 一 下士卒並同等 幾名
 一 馬 幾匹
 一 車 幾輛
 一 荷物畧計 幾噸
 右ハ某月某日某港出帆ノ何號船ヲ某月某日某港迄徵用
 前書ノ通徵用候也
 年月日
 何々長
 官姓
 名印
 某會社某地店長宛

附錄第二號ノ四

受領證票

一 上等
 一 中等
 幾名内幾名ハ某地迄餘ハ某地迄
 幾名内、、、

附錄第二號ノ五

一下等	幾名内、
一馬	幾匹内幾匹ハ某地迄餘ハ某地迄
一車	幾輛内幾輛ハ、
一荷物畧計	幾噸内幾噸ハ、
右ハ某月某日時通常(特別)汽車徵用	
前書之通徵用候也	
年月日	何々長 官 姓 名 印
鐵道會社某地停車場長宛	

附錄第二號

一玄米	幾百石
一精米	幾拾石
一薪	幾貫目
一何々	、
一何々	、
前書ノ通徵用候也	
年月日	何々長 官 姓 名 印
某府(縣)宛	

附錄第六號

賠償金計算書

一宿泊代 第何號證票	何拾何圓
一廐圍代 同上	何拾圓
一馱馬何匹 同上	何圓
一人夫何人 第何號證票ノ内	何圓
一六里外人夫何人 同上	何圓
一荷積大七車何輛 第何號證票	三日 何圓
一同大八車何輛 同上	何圓
一同中車何輛同小車何輛 第何號證票ノ内	何圓
右七廉合計金何百何拾何圓賠償金トシテ御渡相成度候也	評 價
年月日	府知事(縣令)郡區長(戶長)
	姓 名 印
	停車場長(船舶會社店長)
	何地何會計官
	御 中

第三十五年
四月省令
第十四號
參看

●陸軍省令第三十九號 (明治三十三年十一月十三日)
 明治三十一年陸軍省令第十八號徵發事務條例第二十一條第一項第二十四條及第四十
 九條諸表ノ雛形左表ノ通改正ス

(二ツ折美濃紙)

甲號
 明治何年十二月三十一日調
 徵發物件表

口 何市(區)	イ 市何何何			地名	現 住 現 住 醫 看 獸 蹄 職 工 大 船 鍛 車 舟 建 物 船 官
	計	區	區		
				現住人口	現住人口
				醫師	醫師
				護士	護士
				鐵蹄	鐵蹄
				大船	大船
				鍛冶	鍛冶
				製車	製車
				舟	舟
				病院	病院
				學校	學校
				神社	神社
				寺院	寺院
				水車	水車
				西洋	西洋
				帆船	帆船
				日本	日本
				小船	小船
				官衙	官衙
				公署	公署

何府(縣)何郡(市)役所又ハ何
 島廳沖繩縣何郡(區)役所又ハ何
 何島廳北海道廳何支廳又ハ何
 區役所

徵發事務條例

子二九

應 何 郡 村 計	支 郡 計	何 何 村 町 計	計	ハ		ニ	
				何 何 島 村 町 計	何 何 島 村 町 計		
應 何 郡 村 計	支 郡 計	何 何 村 町 計	計	何 何 島 村 町 計	何 何 島 村 町 計	何 何 島 村 町 計	何 何 島 村 町 計
合 計							

調査上の注意

- 一 現住戸數ハ寄留簿、租税ニ關スル諸帳簿其ノ他精確ナル帳簿又ハ書類ニ依リ若ハ實地ニ就キ調査スヘシ
- 二 現住人口ハ年末ノ本籍人口ニ入寄留者ヲ加ヘ之ヨリ出寄留者陸海軍在營在艦ノ下士兵卒、囚人、懲治人、在臺灣人及在外國人ヲ除キタルモノトス
- 三 醫師ハ開業ト否トヲ問ハス醫術開業免狀ヲ有スルモノハ悉ク之ヲ算ス

●海軍省令第十號 (明治三十五年十月二十五日)
 明治三十二年海軍省令第四號徵發事務條例第二十五條ニ依ル諸表ノ雛形左ノ通改ム
 工場表ノ一(用紙美濃紙)

西洋形船舶及船用機關製造修理場表
 道廳府縣 明治 何 年
 十二月三十一日調

技 師	技 師 長	社 持 主	職 員 位 記 學 位 氏 名	資 立 年 月	會 社 ノ 種 類	所 在 地 名	名 稱	專門技術ヲ研究シタル場所				實 業 ニ 從 事 シ タ ル 年 月
								造 船 機 造 船 機 造 船 機 造 船 機				
								造 機 造 船 造 船 造 機				

形	扉 船ノ 幅最 龍骨ノ 大 幅	木 渠口底ト盤高 木ノ上面低	盤 高 上 間 心	盤木ノ間隙ヲ伸縮シ得ルヤ否	法 寸 ノ								
					サ				深				
					リ	ヨ	上	木	盤	ヨ	渠口底	ノ中央	渠口底
					マテ	最小滿潮線	最大朔望滿潮線	平地マテ	平地マテ	最小滿潮線	最大朔望滿潮線	最大朔望滿潮線	最大朔望滿潮線
					部	部	部	部	部	部	部	部	部

渠	開	起	築	渠	渠	渠	戸	排水時間	最外戸當ヲ用ヒシ時ノ	渠内ノ水積	最外戸當ヲ用ヒシ時ノ	ノ差	筒	唧	穴 拔 能			
															發	動	機	
															員	種	類	
一戸當ノ番號ハ頭部ニ近キモノヲ第一トシ順次海邊ニ向ヒ數フルモノトス	年	年	年	方	方	方	度	數	最大朔望滿潮	最小朔望滿潮	最大朔望滿潮	最小朔望滿潮	數	類	力	サ	幅	サ

再熱爐ノ數及最大爐内部ノ容積	最大「パンチング、シャリン」	最大「シリンドーポアリン」
最大「パンチング、シャリン」	工場外「クレーン」並ニ「シヤレツグ」ノ起重力(噸數)	
「プレートエツヂ、プレート」	材料試驗機ノ要領	
「プレート」	材料試驗機備付ナキニ於テハ何處ニ於テ試驗スルヤ	
右ノ外重要ナル諸機械	右ノ外重要ナル諸機械	
明治二十五年以來製造シタル船舶並ニ機關其他施行シタル重要ナル工事ノ要領		
右ノ外製造力及工業ノ程度ヲ示スヘキ要領		
工場表ノ二(用紙美濃紙)		
鑄造工場表(一回ノ熔鐵量三百キログラム)以下ノ工場ハ本表ニ掲クルヲ要セス)	道廳府縣	明治何年
十二月三十一日調		
會社ノ種類		
創立年月		
工場建坪數		
熔鐵爐數		
送風機數		
起重器其他重要機械器具ノ要領		
當時專ラ製造スル品		
職工數(場内最大事業ニ使用スル一日ノ總數ヲ掲クヘシ)		
右ノ外製造力及工業ノ程度ヲ示スヘキ要領		
工場表ノ三(用紙美濃紙)		
鐵工場表(人力ヲ以テ原動力トナス工場ハ本表ニ掲クルヲ要セス)	道廳府縣	明治何年
十二月三十一日調		
會社ノ種類		
所在地名稱		
持主名稱		

再熱爐ノ數及最大爐内部ノ容積	最大「パンチング、シャリン」	最大「シリンドーポアリン」
最大「パンチング、シャリン」	工場外「クレーン」並ニ「シヤレツグ」ノ起重力(噸數)	
「プレートエツヂ、プレート」	材料試驗機ノ要領	
「プレート」	材料試驗機備付ナキニ於テハ何處ニ於テ試驗スルヤ	
右ノ外重要ナル諸機械	右ノ外重要ナル諸機械	
明治二十五年以來製造シタル船舶並ニ機關其他施行シタル重要ナル工事ノ要領		
右ノ外製造力及工業ノ程度ヲ示スヘキ要領		
工場表ノ二(用紙美濃紙)		
鑄造工場表(一回ノ熔鐵量三百キログラム)以下ノ工場ハ本表ニ掲クルヲ要セス)	道廳府縣	明治何年
十二月三十一日調		
會社ノ種類		
創立年月		
工場建坪數		
熔鐵爐數		
送風機數		
起重器其他重要機械器具ノ要領		
當時專ラ製造スル品		
職工數(場内最大事業ニ使用スル一日ノ總數ヲ掲クヘシ)		
右ノ外製造力及工業ノ程度ヲ示スヘキ要領		
工場表ノ三(用紙美濃紙)		
鐵工場表(人力ヲ以テ原動力トナス工場ハ本表ニ掲クルヲ要セス)	道廳府縣	明治何年
十二月三十一日調		
會社ノ種類		
所在地名稱		
持主名稱		

徵發事務條例

子四〇

創 立 年 月	工 場 建 坪 數	種 類	旋 盤 數	旋 盤 二 掛 ケ 最 大 長	得 ヘ キ 物 品 最 大 徑	原 働 種 類	馬 力	機 械 器 具 其 他 重 要 ト リ リ ン グ	職 工 數 (場 内 最 大 事 業 ニ 使 用 ス ル 一 日 ノ 總 數 ヲ 掲 ク ヘ シ)	右 ノ 外 製 造 力 及 工 業 程 度 ヲ 示 ス ヘ キ 要 領	汽 船 表 ノ 一 第 一 頁 (用 紙 美 濃 紙 ニ ツ 折)	汽 船 表 (總 噸 數 百 噸 以 上 ノ モ ノ ニ 用 フ ル モ ノ)	道 府 縣 市 郡 村 町 大字	船 籍 港	船 體 ノ 材 料 (鋼、鐵、木)	資 格 等 級 第 級 船
													道 府 縣 市 郡 村 町 大字	港 管 轄 廳	船 體 ノ 材 料 (鋼、鐵、木)	資 格 等 級 第 級 船

三十八年
三月省令
第四號參
看

本 船 番 號	總 噸 數	登 簿 噸 數	排 水 量 (載 貨 喫 水 ニ 於 テ)	載 貨 噸 數	尺 度	喫 載	水 空
號 信 號 符 字	噸	噸	噸	噸	長 (呎 或 尺)	貨 船 首 呎 時 船 尾 呎 時	船 首 呎 時 船 尾 呎 時
舷 梯 ノ 數 及 幅	甲 板 層 數	單 底 或 ハ 二 重 底	汽 機 ノ 種 類 及 數	主 汽 罐 ノ 種 類 及 數	汽 罐 使 用 水 ノ 種 類	馬 力	力 尋
筒 幅 呎 吋	層 支 水 隔 壁 ノ 數	(一 部 ノ ミ ナ ル ト キ ハ 其 長 サ ヲ 記 ス)	汽 機 ノ 種 類 、 發 電 機 ノ 種 類 、 式 、 數	補 助 汽 罐 ノ 種 類 及 數	汽 罐 使 用 水 ノ 種 類 (清 水 或 ハ 海 水)	最 強	尋
			推 進 器 ノ 種 類 (單 或 ハ 雙)	汽 壓 制 限 磅	主 汽 罐 ノ 種 類 (清 水 或 ハ 海 水)	實	常
			汽 壓 磅	汽 壓 磅	補 助 汽 罐 ノ 種 類 (清 水 或 ハ 海 水)	實	海 里
			電 壓 ボ ルト 電 流 ア ン ペ ア	汽 壓 磅	補 助 汽 罐 ノ 種 類 (清 水 或 ハ 海 水)	實	海 里

徵發事務條例

子四一

窓、通風、管、排、孔、數、甲、材、板、サ、口、尺、貨、ノ、及、度、積、兵、匹、搭、馬、員、積、容、積、並、シ、得、ル、馬、匹、數										
甲					板					
第五	第四	第三	第二	第一	第六	第五	第四	第三	第二	第一
筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
橫	縱	橫	縱	橫	縱	橫	縱	橫	縱	橫
呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒	筒
幅	高	幅	高	幅	高	幅	高	幅	高	幅
呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立
方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方
呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎	呎
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭

徵發事務條例

子四六

同 第四頁

載數板										
第六										
筒										
筒										
筒										
呎										
時										
橫										
呎										
時										
筒										
幅										
高										
呎										
時										
立										
方										
呎										
人										
頭										

同 第四頁										
載數板										
第六										
筒										
筒										
筒										
呎										
時										
橫										
呎										
時										
筒										
幅										
高										
呎										
時										
立										
方										
呎										
人										
頭										

徵發事務條例

子四七

<p>一、船内ニ設置シ得ル寢棚及馬欄ノ員數 ハ左ノ標準ニ據ルヘシ イ、兵員寢棚ヲ設置スルニハ甲板間ノ 高サ(其甲板ヨリ直上甲板「ビーム」 ノ下端マテ)六呎以上ナルトキハ二 段ニ設ケ一人ニ要スル面積ハ長サ六 呎幅二呎トス 但シ寢棚ヲ二列以上ニ設クルトキ ハ其間ニ二呎六吋以上ノ通路ヲ要 ス ロ、上甲板ニ設置スヘキ馬欄ハ一箇ノ 長サ八呎(秣槽ノ幅一)幅二呎六吋高 サ七呎ニシテ通常兩舷側ニ沿ヒ馬首 ヲ内方ニ向ケ一列ニ設置シ而シテ馬 欄ノ前方ニ二呎以上ノ通路ヲ設クル モノトス若シ馬欄ヲ二列以上ニ設ク ルトキハ各列間ニ二呎以上ノ通路ヲ 要ス ハ、中甲板及下甲板ニ馬欄ヲ設置スル ニハ甲板間ノ高サ六呎八吋以上ナル ヲ要ス而シテ馬欄ノ長、幅、通路等ハ 上甲板ノモノニ同シ</p>	<p>記</p>
--	----------

<p>ニ、船内ニ設置シ得ル馬欄ノ尺度等ハ 中甲板ノモノニ同シ ホ、中甲板以下ヘ馬匹ヲ搭載スルニハ 船口ノ尺度八呎以上ナルヲ要ス 船體及煙突ノ塗色、記號、所有者ノ旗 章圖ヲ記事欄ニ記入スヘシ 三、二重底及水艙ノ清水ヲ他艦船ニ供給 スルニ使用シ得ヘキ唧筒ノ種類、數 及各一時間ノ供給力(噸)ヲ記事欄ニ 記入スヘシ 四、新タニ造リ又ハ新タニ買入レタル船 船ニアツテハ船體中心線縱截面圖、船 要部横截面圖、船體各甲板及艙内平 面圖(艙口、諸室、支柱、通風管、諸水 管、汽管、車軸墜道及其他ニシ テ馬欄、寢棚等ヲ設置スルニ妨害 トナルモノハ總テ記入スルヲ要ス) ヲ添フヘシ</p>	<p>事</p>
---	----------

汽船表ノ二 第一頁(用紙美濃紙二ツ折)

汽船表(總噸數百噸未満ノモノニ用フルモノ)

道廳府縣明 治 何 年
十二月三十一日調

徵發事務條例

子五二終

檢 年 月 日	查 有 效 期 限	石 炭 庫 容 量 (噸或ハ斤)	飲 用 水 槽 容 量 (噸或ハ石)	備 付 艇 舟 端 艇	
				旅 客 定 員 一 等 人 二 等 人 三 等 人	隻 傳 馬 船 及 其 他 ノ 艇 舟
乘 組 定 員				船 長 及 運 士	機 關 長 及 機 關 士
部 甲 員 板 人				部 機 員 關 人	部 機 員 關 人
員 乘 組 自 餘 人				員 事 務 人	員 事 務 人

●陸軍省訓令甲第十五號 (明治二十三年九月十九日)

徵發事務條例中徵發物件取調送附方

道廳 府縣

今般勅令第九十六號ヲ以テ徵發事務條例第二十四條改正ニ依リ三年毎ニ徵發物件表ヲ製シ翌年三月三十一日限り陸軍省ニ送附スルハ本年十二月調ヲ以テ第一回トシ二十五年十二月調ヲ以テ第二回トス自後之ニ準スル儀ト心得ヘシ

但條例第二十一條ニ依リ郡區長ニ於テ製表ノ儀モ毎年調製ヲ要セス本文同様ノ儀ト心得ヘシ

徵發事務條例中徵發物件取調送附方

ナ一終

●法律第六十六號 (明治二十九年四月六日)

第一條 戰時若ハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲馬匹ノ調査及検査ヲ行フ

第二條 馬匹ノ調査ハ島司、郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ検査ハ陸軍官憲之ヲ行フ但シ
検査ハ一年一回ヲ超ユルコトナシ

第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ

第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ検査場ニ於テ馬匹ノ検査ヲ受クヘシ

馬匹ノ検査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス

第五條 徴發令ニ依リ徴發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此法律ヲ適用セス

第六條 馬匹ノ調査及検査ヲ行フヘキ區域、時期、馬匹ノ種類、第三條ノ届出事項及

第四條ノ手當、旅費ノ金額ニ關スル規程並此法律施行ノ爲必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附 則

第七條 東京市、京都市、大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長之ヲ行フ

市制、町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ

區長、戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第八條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

●陸軍省令第四號 (明治三十年二月二十四日)

馬匹調査及検査施行規則

三十二年
十月省令
第三十號
參看

第一條 馬匹ノ所有者ハ毎年十一月一日 北海道ニ在テ 調ヲ以テ馬匹ノ現在届書(第一號書式若ハ第二號書式)ヲ同日ヨリ十日 北海道ニ在 以內 到達ノ期ヲ指ニ現住地ノ市町村長ニ差出スヘシ

第二條 馬匹ノ所有者ハ其ノ馬匹ニ出 讓渡シ、死亡シ撲殺シ、屠殺シ、失踪シ若ハ飼 資格ヲ得タル 讓受ケ、出生シ、踪跡ヲ發見シ若ハ飼養所ヲ現住ノ市町 村ニ轉シ又ハ徵發免除ノ 資格ヲ失ヒタルトキハ 其ノ都度十日 北海道ニ在 以內ニ該馬匹ノ出届書(第二號書式)若ハ入届書(第四號 書式)ヲ現住地ノ市町村長ニ差出スヘシ但馬匹ヲ引連レ住所ヲ他ノ市町村ニ轉シ タルトキハ舊住地ノ市町村長ニハ該馬匹ノ出届ヲナシ新住地ノ市町村長ニハ該馬 匹ノ入届ヲナスモノトス

第三條 市町村長馬匹ノ現在届書ヲ受領シタルトキハ其ノ普通ノ所有者ニ屬スル分

ト營業所有者馬匹ノ賣買ヲ營業トスル者ヲ謂フニ屬スル分トニ分類シ且左ノ部別ニ依リ綴リ置クヘシ

牡五歳以上乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 駄馬向ノ部

牡四歳以下乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 駄馬向ノ部

同 用役未定ノ部

牝五歳以上乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 駄馬向ノ部

牝四歳以下乘馬向ノ部

同 輓馬向ノ部

同 駄馬向ノ部

同 用役未定ノ部

市町村長馬匹ノ出入届書ヲ受領シタルトキハ其ノ出ニ屬スル分ト入ニ屬スル分トニ區分ヲ立テ且前項ノ分類及部別ニ依リ綴リ置クヘシ

第四條 町村長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ヲ調製シ毎年十一月二十五日

北海道ニ在テハ迄到達ノ期ヲ指ニ郡長ニ差出スヘシ
十一月二十日迄ス以下同シ

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹調査表ニ依リ其ノ郡内一般ニ渉ル馬匹調査表

(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日北海道ニ在テ迄ニ徵馬管區馬匹徵發事務細則附表ヲ謂フ以

下同シ内ノ師團長ニ差出スヘシ

第五條 市長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ届出ヘシ

第六條 師團長第四條第二項及第五條ノ馬匹調査表ヲ受領シタルトキハ其ノ一通ヲ

軍馬補充部本部長ニ送付スヘシ

第七條 町村長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日及七月一日 北海道ニ在テハ一月一日及五月一日 北海道ニ在テハ當月盡日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹出入表ニ依リ其ノ郡内一般ニ涉ル馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日 北海道ニ在テ迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ

第八條 市長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日及七月一日 北海道ニ在テハ一月一日及五月一日 調ヲ以テ馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日 北海道ニ在テ迄ニ徵馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ

第九條 市町村長馬匹出入表ノ調製ヲ了ルトキハ其ノ都度第三條第一項ノ届書綴及第二項ノ入届書綴中ヨリ其ノ出ニ屬シタル馬匹ノ届書ヲ訂正若ハ除去シ尙ホ入届書ニ殘餘アルトキハ第一項ノ届書綴ニ編入スヘシ

第十條 馬匹検査ハ師團長左ノ委員ヲ設ケテ其ノ徵馬管區内ニ之ヲ行フ

委員長 騎、砲、輜重兵科少佐大尉

一人

委員 騎、砲、輜重兵科士官獸醫部士官

一人乃至二人

第十一條 馬匹検査場ハ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所在地ヨリ該検査場へ一日間ニ往復

シ得ル區域毎ニ一箇所トシ郡市長ノ下調ニ依リ師團長之レヲ定ム但一所ニ多數ノ馬匹ヲ置ク者アルトキハ別ニ其ノ馬匹ノ所在地ヲ以テ検査場ニ充ツルコトヲ得

第十二條 師團長馬匹ノ検査ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ時期馬匹ノ區別一日間ノ検査馬數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ

第十三條 郡市長第十二條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹調査表若クハ最近馬匹出入表ニ依リ馬匹下調表(第七號書式)ヲ調製シ師團長ニ差出スヘシ

第十四條 師團長ハ馬匹検査ノ計畫既ニ成ルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ行フヘキ馬匹ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ市町村ノ日割日々検査ヲ行フヘキ馬匹ノ概數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ

第十五條 郡長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ受クヘキ馬匹ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ町村ノ日割日々検査ヲ受クヘキ馬匹ノ概數

其ノ他必要ノ事項ヲ町村長ニ達スヘシ

町村長前項ノ達ヲ受ケタルトキハ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ管理人ヲ調ヘ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ日割ヲ定メ馬匹検査場ノ位置其ノ他必要ノ事項ト共ニ該所有者若ハ總代人又ハ管理人ニ通知スヘシ

町村長前項ノ通知ヲ爲シタル後新ニ検査ヲ受クヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ管理人トナリタル者アルトキハ其ノ都度同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 市長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ第十五條第二項第三項ト同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 市長ハ第十四條町村長ハ第十五條第一項ノ達ヲ受ケタル當日調ヲ以テ出場馬匹名簿(第八號書式)ヲ調製シ爾後馬匹検査當日迄ノ間ニ於テ検査ヲ受クヘキ馬匹ニ出入アルトキハ其ノ都度該名簿ヲ訂正シ馬匹検査ノ際馬匹検査委員ニ差出スヘシ

第十八條 馬匹ノ所有者第十三條第二項第三項若ハ第十六條ノ通知ヲ受ケタルトキ

ハ該通知ニ應シ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘシ

第十九條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ疾病傷瘕分娩其ノ他正當ノ理由ニ依リ検査ニ出場セシムルコト能ハサルトキハ獸醫ノ診斷書若ハ戸主二名ノ證明書ヲ添ヘテ其ノ旨ヲ現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

第二十條 馬匹検査委員ハ出場馬匹名簿ニ依リ検査ヲ行フヘシ

第二十一條 郡市町村吏員北海道ニ在テハ郡吏員ヲ除クハ馬匹ノ検査ニ立會フヘシ

第二十二條 馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律第四條ノ手當及旅費ハ左ノ支給方ニ依ル

一 手當ハ馬匹一頭ニ付拾錢ヲ給ス

一 旅費ハ馬匹一頭ニ付一里毎ニ貳錢五厘ヲ給ス但往復里程ハ通算シ一里未滿ノ端數ハ給セス

第二十三條 馬匹ノ戸有者其ノ馬匹ヲ現住市町村外ニ置クトキハ該馬匹所在ノ市町村毎ニ該市町村内ノ現住者中ヨリ該馬匹ノ管理人ヲ設クヘシ但馬匹所在地ニシテ

二箇以上ノ市町村ニ跨ルトキハ該馬匹ノ管理人ハ該市町村内ノ現住者一人トシ又馬匹所在地ニシテ該馬匹ノ所有者現住ノ市町村ト他ノ市町村トニ跨ルトキ若ハ本規則未行地ナルトキハ管理人ヲ設クルヲ要セス

馬匹ノ所有者ハ其ノ馬匹ノ管理人ヲ設ケ若ハ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ都度十日北海道ニ在テハ二十日以内ニ該管理人ノ住所氏名ヲ記シ其ノ旨ヲ該管理人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

馬匹ノ管理人ハ其ノ管理スル馬匹ニ就テハ該馬匹ノ所有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十四條 馬匹ノ共有者ハ該共有者中ヨリ一人ノ總代人ヲ設ケ總代人ノ住所氏名ヲ記シ一同連署ノ上十日北海道ニ在テハ二十日以内ニ該總代人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ其ノ總代人ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項ノ總代人ハ前項ノ各共有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條第二十三條第一項第二項ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十五條 馬匹ノ所有者第一條第二條第二十三條第二項第二十四條第一項ノ届出ヲ怠リタルトキ第二十四條第一項ノ總代人ヲ設ケサルトキ第十八條第二十三條第一項ニ違犯シタルトキ第十九條ノ届出ヲ怠リ若ハ詐偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
前項ノ罰則ハ馬匹管理人又ハ總代人ニ於テ處辨スヘキ事項ニ在テハ其ノ管理人又ハ總代人ニ適用スルモノトス

附 則

第二十六條 本規則中市トアルハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區ニ當ス

第二十七條 本規則中市長ノ職務ハ東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長之ヲ行ヒ郡長ノ職務ハ北海道ノ郡ニ在テハ支廳長、對馬ニ在テハ島司之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長及之レニ準スヘキモノ之ヲ行フ

第二十八條 臺灣沖繩縣北海道所屬ノ島嶼其ノ他町村制ヲ施行セサル島嶼(對馬ヲ除ク)ニハ當分本規則ヲ施行セス但該地方ノ現住者中其ノ所有ノ馬匹ヲ本規則施行地ニ置ク者其ノ馬匹ニ關シテハ此ノ限ニアラス

第二十九條 削除

第三十條 明治三十年ニ限リ北海道外ノ郡市町村長ハ第四條及第五條ノ手續ヲ二回施行スヘシ但第一回ノ馬匹調査表ハ市町村長ニ在テハ第二十九條ノ現在届書ニ依テ調製シ其ノ差出期限ハ町村長ニ在テハ四月二十五日迄郡市長ニ在テハ五月二十日迄トス

第三十一條 明治三十年ニ限リ北海道外ノ郡市町村長ハ第七條第八條及第九條ノ手續ハ九月ヨリ行フヘシ

第三十二條 明治三十年ニ限リ北海道現住ノ馬匹所有者中其ノ馬匹ヲ同道内ニ置ク者ハ同年八月盡日迄ハ第二條第二十三條第二十四條及第二十九條ノ手續ヲ行フニ及ハス

第三十三條 削除

第一號書式 (用紙半紙)

馬匹現在届

- 一 性
 - 一 年齢
 - 一 用役
 - 一 體尺
 - 一 毛色
- 右現在候也

現住所

年月日

馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人)氏 名 印

市町村長宛

注意

- 一 此ノ届書ハ馬匹一頭毎ニ調製スルモノトス但多數ノ馬匹ヲ所有若ハ管理スル者ノ届書ハ第二號書式ニ據ルコトヲ得
- 二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ
- 三 用役ノ處ニハ乘馬ニ適スヘキカ輓馬ニ適スヘキカ又ハ駄馬ニ適スヘキカ其ノ見込ヲ定メテ「乘馬向」「輓馬向」又ハ「駄馬向」ト記載スヘシ但四歳以下ノ馬匹中其ノ見込ヲ定メ難キ幼齡ノモノニ限リ「用役未定」ト記載スヘシ
- 四 體尺ハ肩ノ最モ高キ處ヨリ地面ヘ垂直ニ測リタルモノヲ記載スヘシ
- 五 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノ、届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第二號書式 (用紙半紙罫紙)

馬匹現在届

一性 一五歳以上(四歳以下) 一用役 右何頭現在候也	年 内 譯 齡	體	尺	毛	色
年月日	現住所 馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏 名 ①				
市町村長宛					

注意

- 一 性、用役、體尺ノ記載方ハ第一號書式ニ同シ
- 二 多數ノ馬匹ヲ所有若ハ管理スル者ノ届書ハ此書式ニ據ルコトヲ得但牡馬ノ分ト牝馬ノ分トニ別チ五歳以上ノモノニ在テハ「乘馬向」「輓馬向」「駄馬向」每ニ各一人宛、四歳以下ノモノニ在テハ「乘馬向」「輓馬向」「駄馬向」「用役未

- 定「毎ニ各一通宛調製スルモノトス
- 三 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスル者ノ届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者ノ總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第三號書式 (用紙半紙)

馬匹出届

- 一性
- 一年齡
- 一用役
- 一體尺
- 一毛色

右何市町村何誰へ讓渡(死亡)(撲殺)(屠殺)(失踪)(飼養所ヲ何市町村へ轉シ)(徵發免除ノ資格ヲ得)候也

現住所

年月日

馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏

名 印

市町村長宛

注意

- 一 此ノ届書ハ馬匹一頭毎ニ調製スルモノトス
- 二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ
- 三 年齡、用役及體尺ハ前回差出シタル現在届若ハ入届ニ記載シタルモノヲ記載スヘシ
- 四 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノ、届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第四號書式 (用紙半紙)

馬匹入届

- 一性
- 一年齡
- 一用役
- 一體尺
- 一毛色

右何市町村何誰ヨリ讓受(出生)(踪跡發見)(飼養所ヲ現住市町村へ轉シ)(徵發免除ノ資格ヲ失ヒ)候也

現住所

年月日 馬匹所有者(總代人)(馬匹管理人) 氏 名 印
市町村長宛

注意

- 一 此ノ届書ハ馬匹一頭毎ニ調製スルモノトス
- 二 性ノ處ニハ「牝」又ハ「牡」ト記載スヘシ

三 用役ノ處ニハ乘馬ニ適スヘキカ輓馬ニ適スヘキカ又ハ駄馬ニ適スヘキカ其ノ見込ヲ定メテ「乘馬向」「輓馬向」又ハ「駄馬向」ト記載スヘシ但四歳以下ノ馬匹中其ノ見込ヲ定メ難キ幼齡ノモノニ限リ「用役未定」ト記載スヘシ

四 體尺ハ肩ノ最モ高キ處ヨリ地面へ垂直ニ測リタルモノヲ記載スヘシ

五 馬匹ノ所有者ニシテ馬匹ノ賣買ヲ營業トスルモノ、届書ニハ氏名ノ上ヲ「營業所有者」若ハ「營業所有者總代人」又ハ「營業所有者ノ馬匹管理人」ト記載スヘシ

第五號書式 (用紙美濃紙)

月	年	馬匹調査表	五歳以上ノ部(四歳以下ノ部)		北海道府縣(郡)		氏 名
			郡市町村長		氏 名		
體 區	尺	分	馬 牝		馬 牝		計
			乘馬向	輓馬向	乘馬向	輓馬向	
三尺八寸以下							
三尺九寸							
四 尺							

馬匹調査及検査施行規則

考備	計	尺								
		九	八	七	六	五	四	三	二	一
		寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸

注意

- 一 此ノ表ハ各郡市町村毎ニ調製スルモノトス
- 二 體尺ヲ記入スルニ方リ寸未滿ハ四捨五入スヘシ
- 三 四歳以下ノ部ヲ調製スルトキハ「駄馬向」ノ下ニ「用役未定」ノ區畫ヲ増設スヘシ
- 四 營業所有者ノ馬匹ハ各區畫内ヘ朱ニテ左側ニ記入スヘシ

第六號書式 (用紙美濃紙)

月一日調年 馬匹出入表

五歳以上ノ部(四歳以下ノ部)

北海道府縣(郡) 郡市町村長 氏

名

考備	計	尺									體分	
		九	八	七	六	五	四	三	二	一	四	三
		寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	尺	寸

馬匹調査及検査施行規則

注意

- 一 此ノ表ハ各郡市町村毎ニ調製スルモノトス
- 二 體尺ヲ記入スルニ方リ寸未滿ハ四捨五入スヘシ
- 三 既往ノ區畫ニハ三月一日 北海道ニ在テ 北海道ニ在テ 調ニ在テハ馬匹調査表ノ馬數ヲ記入シ七月一日以後 北海道ニ在テ 五月一日 調ニ在テハ前回ノ馬匹出入表中ノ現在馬數ヲ記入スヘシ
- 四 入ノ區畫ニハ既往四箇月間ニ入届アリタル馬數出ノ區畫ニハ既往四箇月間ニ出届アリタル馬數ヲ記入スヘシ
- 五 現在ノ區畫ニハ既往ト入トノ合計ヨリ出ノ馬數ヲ減シタル殘數ヲ記入スヘシ
- 六 四歳以下ノ部ヲ調製スルトキハ「駄馬向」ノ下ニ「用役未定」ノ區畫ヲ増設スヘシ
- 七 營業所有者ノ馬匹ハ各區畫内ヘ朱ニテ左側ニ記入スヘシ

第七號書式 (用紙美濃紙)

月 日 年		調 年		馬匹検査下調表		北海道府縣 郡市長 氏 名	
丙	日何第	乙	日何第	町	日二第	甲	日一第
							乙村へ何里何町
							丙町へ何里何町
							丁村へ何里何町
							丙町へ何里何町
							丁村へ何里何町
							丁村へ何里何町

考備	町	丁	村
	日何第	日何第	日何第

注意

- 一 此ノ表ハ各郡市毎ニ調製スルモノトス
 - 二 營業所有者ノ馬匹ノ數ハ相當區畫内ヘ朱ニテ左側ニ記入スヘシ
- 第八號書式 (用紙半紙)

月日調年 出場馬匹名簿

北海道府縣 郡市町村長 氏 名

牡(牝)馬五歳以上(四歳以下)ノ部

普通所有者ノ馬匹

營業所有者ノ馬匹

何頭 何頭

計

何頭

何頭

年齢	體尺	毛色	用役	馬匹所有者
				總代理人
				管理人
				氏 名

注意

- 一 此ノ名簿ハ各市町村ニ區別シ牡馬五歳以上ノ部、牝馬五歳以上ノ部、牡馬四歳以下ノ部、牝馬四歳以下ノ部ノ各部毎ニ一通宛調製スルモノトス
- 二 營業所有者ノ分ハ朱ニテ記入スヘシ

●法律第二十二號 (明治三十四年四月二日)

馬匹去勢法

第一條 牡馬ニハ去勢ヲ行フ但シ種牡馬ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 牡馬ニシテ種牡馬タルヘキ資質アリト認メタルモノニハ頭數ヲ限り去勢ノ施行ヲ猶豫ス

疾病又ハ發育不全ニ因リ去勢ヲ行フニ堪ヘスト認メタルモノ若ハ學術研究ノ爲行
政官廳ノ許可ヲ得タルモノニハ去勢ノ施行ヲ猶豫スルコトヲ得

第三條 牡馬ノ去勢年齡ハ明ケ三歳トス

去勢ハ春期又ハ夏期ニ於テ之ヲ行フ

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル牡馬ニハ去勢年齡ニ拘ハラヌ去勢ヲ施行ス但シ明
ケ十五歳以上ノモノハ此ノ限ニ在ラス

一 去勢ノ施行ヲ猶豫シ其ノ他已ヲ得スシテ去勢ヲ施行スルコトヲ得サリシ牡馬

- ニシテ其ノ事由消滅シタルモノ
- 二 去勢年齢ヲ經過シタル牡馬ニシテ本法施行後本法ヲ施行セサル島嶼ヨリ牽キ入レ又ハ外國ヨリ輸入シタルモノ
- 三 本法施行ノ際去勢年齢ヲ經過シタルモノヲ除クノ外種牡馬ニシテ検査合格ノ證明ノ效力ヲ失ヒタルモノ
- 第五條 牡馬ニシテ去勢施行ノ爲斃死シ又ハ從來ノ用途ヲ變更若ハ廢止スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ償金ヲ與フヘシ
- 第六條 去勢施行ノ費用ニ關スル規定並前條償金ノ査定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第七條 牡馬ノ去勢ノ施行ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 附 則
- 第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第九條 本法ハ種牡馬検査法ヲ施行セサル島嶼ニハ之ヲ施行セス

●陸軍省令第三十一號 (明治三十二年十月二十六日)
馬匹徵發事務細則

第一章 總則

- 第一條 本則ハ動員ノ爲メ師團ニ於テ行フ馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ヲ規定スルモノトス
- 第二條 馬匹ノ徵發ハ附表ニ示ス徵馬管區ニ從テ之ヲ行フ
- 第三條 徵馬管區内ノ地方官衙、公署ニ於ケル馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ハ本則ニ依ルノ外尙ホ當該管區ヲ管轄スル師團長ノ規定スル所ニ從フヘシ
- 第四條 師團長ハ徵發馬匹差出場所ニ於テ馬匹ノ検査ヲ爲シ且該所ニ於ケル徵發及輸送ノ事務ヲ掌ラシムル爲メ馬匹徵發委員ヲ設ケ又徵發馬匹輸送途中ニ於ケル宿泊及給養ノ事務ヲ掌ラシムル爲メ馬匹給養委員ヲ設クルモノトス
- 第五條 徵發馬匹ヲ其差出場所ヨリ到着地ニ輸送スル爲メニハ馬匹ノ操業者ヲ徵用スルモノトス

第六條 馬匹徵發ノ實施ニ關シ官衙、公署間送ニ發送スル文書ノ封筒ハ動員用封筒
(第一様式)ヲ用キ之ヲ受領シタル者ハ其封筒ニ受領時刻ヲ記入シ受領證區畫ニ捺
印ノ上之ヲ返附スヘシ其本人ニ代テ受領シタル者ハ受領證區畫ニ氏名ヲ記シ捺印
スヘシ

第七條 本則中到着地トアルハ徵發馬匹ヲ受領スル部隊ノ所在地ヲ謂フ

第八條 本則中地方長官トアルハ東京府ニ在テハ警視總監ヲ、警察署長トアルハ警
察分署長ヲ、村長トアルハ戸長及之ニ準スヘキ者ヲ包含シ又市長トアルハ東京市、
京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長ニ、郡長トアルハ北海道ノ郡ニ在テハ支
廳長ニ、對馬ニ在テハ島司ニ該當ス

市トアルハ東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區ニ該當ス

第二章 徵發準備

第九條 師團長ハ定期若クハ臨時ニ地方官衙、公署ニ於ケル馬匹徵發準備ノ整否ヲ
閱視シ又ハ聯隊區司令官及其他部下將校ヲシテ之ヲ閱視セシム

三十四年
十二月省
令第二十
一號參看

第十條 地方長官ハ師團長ヨリ徵發馬匹差出場所及同宿泊所表ヲ受クレハ直ニ之ヲ

差出場所若クハ宿泊所ヲ設置スヘキ地ヲ管轄スル郡市長 東京市、京都市、大阪市及
ニ在テハ市長ヲ經テ

警察署長ニ達スヘシ

第十一條 地方長官ハ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ關シ師團長ヨリ要求ア
ルトキハ其準備ヲナスヘシ

第十二條 憲兵隊長ハ師團長ヨリ徵發馬匹差出場所及同宿泊所表ヲ受クレハ直ニ警
察署長ト協議ノ上該所ニ於ケル取締ニ關シ必要ノ準備ヲナスヘシ

第十三條 警察署長ハ地方長官ヨリ第十條ノ達ヲ受クレハ憲兵隊長ト協議ノ上其取
締ニ關シ必要ノ準備ヲナスヘシ

第十四條 郡長ハ師團長ヨリ徵發馬匹配當及差出日割表ヲ受クレハ直ニ馬匹調査及
檢査施行規則第四條ニ規定スル馬匹調査表ニ依リ徵發スヘキ馬匹ヲ町村ニ配當シ
爾後要スレハ同規則第七條ニ規定シ
タル馬匹出入表ニ依リ之ヲ變更ス 何時ニテモ迅速確實ニ師團長ノ指定スル期日
ニ於テ其指定ノ馬數ヲ差出シ得ヘキ準備ヲナスヘシ

第十五條 市長ハ師團長ヨリ徵發馬匹配當及差出日割表ヲ受クレハ直ニ馬匹調査及
検査施行規則第三條ニ規定スル馬匹現在届書又ハ馬匹出入届書ニ依リ差出スヘキ
馬匹ヲ豫定シ何時ニテモ迅速確實ニ師團長ノ指定スル期日ニ於テ其指定ノ馬數ヲ
差出シ得ヘキ準備ヲナスヘシ

第十六條 郡市長ハ師團長ヨリ馬匹徵發書ヲ受クレハ確實ニ之ヲ保管スヘシ但此徵
發書ハ師團動員發令ノ時ヨリ初メテ其効力ヲ有スルモノトス

第十七條 郡市長ハ馬匹ノ異動ニ依リ師團長ヨリ指定ノ馬數ヲ差出シ能ハサルコト
ヲ豫知シタルトキハ速ニ其旨ヲ師團長ニ申告シ其指示ヲ請クヘシ

第十八條 郡市長ハ師團長ノ要求ニ依リ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ要ス
ル費用ノ豫算其他馬匹徵發ニ關スル準備ノ爲メ所要ノ調査ヲナスヘシ

第十九條 馬匹徵發ニ關シ郡役所ニ於テハ町村徵發馬匹配當書類町村徵發馬匹差出
場所到着日割書類及動員用封筒ヲ、市役所及町村役場ニ於テハ動員用封筒ヲ準備
シ置クヘシ

第三章 徵發實施

第二十條 馬匹ノ徵發ハ當該師團動員發令ノ時ヨリ實施スヘキモノトス

馬匹ノミ徵發スル都市若クハ徵發馬匹差出場所又ハ同宿泊所ノミ設置スヘキ都市
ニ在テハ徵馬管區ヲ管轄スル師團長ヨリ動員令ヲ當該地方長官及郡市長ニ通達ス
ヘシ

第二十一條 地方長官ハ師團長ヨリ動員令ノ通達ヲ受クレハ直ニ之ヲ警察署長ニ達
スヘシ

第二十二條 憲兵隊長ハ師團ヨリ動員令ノ通達ヲ受クレハ直ニ之ヲ部下ニ達シ豫定
ノ計畫ニ從ヒ憲兵ヲ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ニ派遣シ馬匹徵發委員及馬匹給
養委員竝ニ當該市、町、村長ト協議ノ上其取締ニ關シ相當ノ處置ヲナサシムヘシ

第二十三條 警察署長ハ地方長官ヨリ動員令ノ通達ヲ受クレハ直ニ之ヲ部下ニ達シ
豫定ノ計畫ニ從ヒ警察官吏ヲ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ニ派遣シ馬匹徵發委員
及馬匹給養委員竝ニ當該市、町、村長ト協議ノ上其取締ニ關シ相當ノ處置ヲナサシ

ムヘシ

第二十四條 郡市長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官第二十條第二項ニ當ル郡市ニ在テハ師團長ヨリ動員令ノ通達ヲ受クレハ其達書ニ指示スル動員ノ區分ト豫テ保管スル馬匹徵發書ニ記スル所ノ馬匹ノ員數此員數若シ徵發馬匹配當及差出日割表ニ記セルトニ基キ郡員數ト差違アルトキハ徵發書ニ示ス所ニ依ル長ニ在テハ直ニ馬匹ノ配當及徵發馬匹差出場所到著日割ヲ町村長ニ達シ市、町、村長ニ在テハ徵發スヘキ馬匹ノ所有者ニ達スヘシ

第二十五條 郡市長ハ前條徵發馬匹差出場所到著日割ヲ定ムルニハ第十四條ニ示ス徵發馬匹差出場所到著日割表ノ日次ヲ動員令ニ指定スル動員第一日ヨリ起リ曆日ニ換算シテ定ムヘシ

第二十六條 郡市長ハ第二十四條及第二十五條ノ手續ヲ終ルトキハ直ニ徵發馬匹出場名簿(第二樣式)ニ通テ調製シ郡長ニ在テハ町村長ノ調製シタルモノニ基キ調製シ又町村長ノ調製シタルモノヲ其儘應用スヲ携ヘテ徵發馬匹ノ到著期日前ニ其差出場所ニ到著シ其一通ヲ馬匹徵發委員長ニ差出シ當該郡市徵發馬匹ノ檢査ニ立會フヘシ

第二十七條 郡市長ハ馬匹徵發委員長ヨリ檢査ニ合格シタル馬匹ノ爲メ徵發馬匹受領證票(第二樣式)ヲ受クレハ其乙號ハ自ラ之ヲ保管シ丙號ハ馬匹所有者ニ交付スヘシ

第二十八條 徵發馬匹差出場所若クハ同宿泊所ヲ設置スヘキ地ヲ管轄スル郡市長ハ師團長若クハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ動員令ノ通達ヲ受クレハ豫定ノ計畫ニ從ヒ直ニ其設備ニ著手シ當該委員到著スルトキハ尙ホ之ト協議ノ上速ニ其完成ヲ期スヘシ

第二十九條 郡市長ハ徵發令ニ依リ前給ヲ要スル賃價ハ馬匹徵發委員長ニ徵發馬匹買上代、操業者徵用賃金及徵發區外ニ於ケル輸送賃金其他賠償ニ關スル金額ハ當該師團司令部ニ請求スヘシ但馬匹買上代ノ請求書ニハ乙號ノ徵發馬匹受領證票ヲ添フヘシ

郡市町村吏員ニシテ徵發事務ニ關シ馬匹差出場所等ニ出張執務シタル者ノ旅費其他郡市町村ニ於テ使用セシ郵便電信料使了賃金等總テ徵發實施ニ關スル諸費ハ當

三十七年
四月省令
第十五號
參看
三十二年
九月省令
第二十七
號參看

該師團司令部ニ請求スヘシ

第二十條 徵發馬匹差出場所若クハ同宿泊所ノ設備ヲ擔任スル郡市長ハ其費用ヲ當該委員長ニ請求スヘシ

第二十一條 馬匹徵發ノ達ヲ受ケタル馬匹ノ所有者若クハ其代理者ハ馬匹ヲ牽連レ出發シ二十四時間ニ陸路約十里ノ割合ヲ以テ旅行シ市、町、村長ノ指定スル徵發馬匹差出場所到着期日ノ午前六時ヨリ午後六時迄ノ間ニ差出場所ニ到着シ當該郡市長ニ届出ツヘシ

第三十二條 馬匹徵馬ノ達ヲ受ケタル馬匹ノ所有者其馬匹疾病ノ爲メ徵發ニ應スル能ハサルトキハ達ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ憲兵若クハ警察官吏ノ證明書ヲ以テ市、町、村長ニ届出ツヘシ

應徵ノ途中馬匹疾病ノ爲メ徵發ニ應スル能ハサル場合ニ在テモ亦前項ノ手續ニ依ル

第三十三條 師團長ハ動員中豫定外ニ馬匹ヲ増加徵發セントスルトキハ別ニ徵發書

ヲ作り尙ホ其到着期日ヲ指定シテ當該郡市長ニ通達スヘシ
前項ノ場合ニ在テ郡市長ハ第二十四條及第二十六條ノ規定ニ準シ速ニ馬匹ヲ差出スヘシ

第三十四條 動員完結後復員迄ノ間ニ於ケル馬匹ノ徵發ニ在テモ本細則ヲ準用スヘシ

附則

第三十五條 本則ハ明治三十二年十月三十日ヨリ施行ス

第三十六條 本則ハ明治三十年陸軍省令第四號馬匹調査及檢査施行規則ヲ實施セサル島嶼ニハ當分施行セス

第三十七條 明治三十年陸軍省令第二十七號馬匹徵發事務規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但明治三十二年度ニ於ケル既成ノ準備及徵發ノ實施ニ關シテハ馬匹徵發事務規則ニ依ル

本令ハ今回ノ戰役ニ關シ既ニ實施シタル徵發ニモ之ヲ適用ス

第一様式 動員用封筒

動馬何第何號何通		受領時刻	月	日	午前
		受領證			後
				時	分

- 一 動馬ノ下「何」ハ各官衙、公署ニ於テ文書ノ發送番號ニ冠スル符號トス
- 二 封筒用紙ハ紅色トス

第二様式

何地徵發馬匹出場名簿

何郡市

何月何日出場社(牝)何頭

内 譯

檢査成績	年齢	體尺	毛色	用役	馬匹所有者	徵發區ノ境界ヨリ	馬匹所有者氏名
					居住町村	差出場所ニ至ル里程	
					居住町村	差出場所ニ至ル里程	
					居住町村	差出場所ニ至ル里程	
					居住町村	差出場所ニ至ル里程	

何月何日出場社(牝)何頭

- 一 「徵發馬匹出場名簿」ノ上「何地トハ差出場所ノ地名ヲ指ス」
- 二 檢査ノ成績トハ徵務委員ノ檢定セシ結果即チ合否ヲ記入スルモノトス
- 三 「徵發區ノ境界ヨリ差出場所ニ至ル里程」ハ馬匹所有者ノ居住町村ヨリ差出場所ニ至ル捷路ニ就キ調査シ一町未滿ノ間數ハ除算スヘキモノトス
- 四 用紙ハ野紙

第三樣式

徵發馬匹受領證票					甲 號
馬匹所有者住所氏名					何第何號
操業者住所氏名					
性用役及等級					
徵發月日					
買上代					
明治 年 月 日 何市(町)(村)ニ於テ					
何師團馬匹徵發委員長					
官 氏 名 印					
師團司令部印					

徵發馬匹受領證票					乙 號
馬匹所有者住所氏名					何第何號
操業者住所氏名					
性					
徵發月日					
買上代					
明治 年 月 日 何市(町)(村)ニ於テ					
何師團馬匹徵發委員長					
官 氏 名 印					
師團司令部印					
徵發馬匹受領證票					丙 號
馬匹所有者住所氏名					

三十四年十一月十九日
令第十九號
參看

所管師團	道府縣	郡	市	區
近衛	群馬	多野、北甘樂、碓氷、吾妻、利根、勢多、群馬、佐波、新田、前橋市、高崎市		
	埼玉	北埼玉、大里、兒玉、比企、秩父		
	東京	三浦		
第一	千葉	北葛飾、南埼玉、北足立、入間		
	埼玉	北葛飾、東浦原、西浦原、北浦原、中浦原、佐土、新潟市		
第二	宮城	杜鹿、桃生、遠田、志田、玉造、加美、黒川、宮城、名取、柴田、刈田、伊具、亙理、仙臺市		
	福島	悉皆		
	愛知	悉皆		
	三重	桑名、員辨、三重、鈴鹿、河藝、安濃、一志、飯南、多氣、度會、志摩、北牟婁、南牟婁、津市、四日市市		
第三	静岡	悉皆		
	長野	上伊那、下伊那、西筑摩、諏訪、南佐久、北佐久、小縣、埴科、上高井、下高井、上水内、下水内、長野市		
	神奈川	鎌倉、高座、中、足柄上、足柄下、愛甲、津久井、久良岐、橘樹、都筑、横濱市		
	山梨	悉皆		
	茨城	久慈、多賀、那珂		
	京都	愛宕、葛野、宇治、紀井、乙訓、久世、綴喜、相樂、京都市		
	大阪	北河内、南河内、中河内、東成、泉北、泉南、大阪市、堺市		

馬匹徵發事務細則

ウ一五

附表

- 一 番號ハ徵發馬匹番號札ノ番號ヲ記入スルモノス
- 二 性用役及等級ノ區畫ニハ徵發馬匹番號札ノ牡(牝)乘(輓)(駄)及甲(乙)(丙)ヲ記入スルモノトス

徵馬管區表

業者住所氏名	性	徵發月日	買上代

明治 年 月 日 何市(町)(村)ニ於テ
何師團馬匹徵發委員長
官 氏 名 印

馬匹徵發事務細則

ウ一四

三十六年
十月省令
第十號參看

兵	津名、三原
奈良	悉皆
和歌山	悉皆
滋賀	悉皆
三重	阿山、名賀
茨城	猿島、北相馬、東茨城、西茨城、鹿島、行方、稻敷、新治、筑波、真壁、結城、水戸市
岡山	阿哲、上房、川上、吉備、都窪、淺口、小田、後月
廣島	悉皆
山口	悉皆
大分	悉皆
福岡	北海部、南海部、大分、直入、大野
熊本	三井、三瀨、八女、山門、三池、久留米市
鹿兒島	悉皆
宮崎	悉皆
北九州	悉皆
青森	悉皆
秋田	悉皆
山形	悉皆
巖手	悉皆
宮城	本吉、登米、栗原
富山	悉皆
石川	悉皆

三十七年
八月省令
第二十一號參看

岐	悉皆
福井	大野、阪井、吉田、足羽、丹生、今立、南條、敦賀、福井市
長野	北安曇、南安曇、更級、東筑摩
新潟	三島、刈羽、中魚沼、東頸城、西頸城、中頸城、古志、南蒲原、北魚沼、南魚沼
群馬	安蘇、足利
栃木	山田、邑樂
京都	北桑田、南桑田、船井、加佐、天田、何鹿、與謝、竹野、中、熊野
大阪	三島、豐野、西成
兵庫	出石、城崎、美方、養父、朝來、氷上、多紀、川邊、有馬、武庫、明石、美嚢、加古、加東、加西、多可、印南、神崎、飾磨、宍粟、揖保、佐用、赤穂、神戸市、姫路市
鳥取	悉皆
岡山	英田、和氣、勝田、赤磐、邑久、苫田、久米、真庭、御津、上道、兒島、岡山市
福岡	三方、遠敷、大飯
栃木	河内、上都賀、芳賀、下都賀、鹽谷、那須、宇都宮市
德島	悉皆
香川	悉皆
愛媛	悉皆
高知	悉皆
大分	東國東、西國東
福岡	企救、遠賀、宗像、鞍手、京都、筑上、田川、嘉穗、糟屋、筑紫、早良、糸島、朝倉、浮羽、福岡市、小倉市、門司市
佐賀	悉皆

長崎 悉皆
大分 速見、宇佐、下毛、玖珠、日田

但シ明治三十六年度内ニ於テ徵發ヲ實施スル場合ニ在テハ從前ノ管區ニ依ルモノトス

●陸軍省令第六號 (明治二十七年二月十日)

陸軍兵籍規則左ノ通改正ス

陸軍兵籍規則

第一條 陸軍兵籍ハ分テ第一種及第二種兵籍トス

將校同相當官及准士官ノ兵籍ハ第一種兵籍トシ士官候補生、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、下士兵卒雜卒及職工ヲ包諸生徒常備兵籍ニ編入ス及依託學生ノ兵籍ハ第二種兵籍トス

第二條 第一種兵籍及第二種兵籍ニ登記スヘキ事項及其ノ様式ハ附表第一及第二ニ依ル

第三條 現役將校同相當官准士官、士官候補生、主計候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官現役下士兵卒諸生徒及依託學生ノ兵籍ハ所屬軍隊官衙學校ノ所管トシ休職停職豫備役後備役將官同相當官ノ兵籍ハ本籍地所管ノ師團司令部、休職停職豫備役後備役上長官士官准士官、豫備役後備役下士兵卒及補充兵ノ兵籍ハ本籍地

所管ノ聯隊區司令部警備隊司令部又ハ警備隊區司令部ノ所管トス
豫備役後備役將校同相當官准士官及下士兵卒ニシテ現役ノ職ニ就キタル場合ニ在
テハ其ノ兵籍ハ當該軍隊官衙學校ノ所管トス

第四條 第一種兵籍ハ初テ官ニ任セラレタルトキ其ノ所屬軍隊官衙學校ニ於テ調製
シ其ノ謄本ヲ陸軍省ニ差出スヘシ

第五條 第二種兵籍ハ入隊又ハ入校ノトキ當該部隊ニ於テ調製スヘシ但シ補充兵
輜重輸卒ニ在テハ初テ召集ニ應シタルトキ輜重輸卒タル補充兵ニ在テハ初テ役ニ
就キタルトキ聯隊區司令部ニ於テ其ノ兵籍ヲ調製スルモノトス

第六條 兵籍調製ノ場合ニ於テ兵籍中戸籍ニ關スル事項ハ戸籍謄本ニ依リ登記スヘ
シ

第七條 兵籍ハ第一種及第二種ニ分チ各編綴シテ兵籍簿ト爲スヘシ

第八條 兵籍中戸籍ニ關スル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ本人ヨリ一箇月以内ニ兵

三十八年
六月省令
第十號參
看

籍所管廳ニ届出ヘシ但シ服役條例ニ依リ届出ツヘキ事項ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ届出ニシテ本人ノ年齢及婚姻ニ係ルトキハ戸籍抄本ヲ添付スヘシ

第九條 兵籍所管廳ハ兵籍上異動ヲ生シタル毎ニ兵籍ノ訂正補足ヲ爲シ第一種兵籍
ニ在リテハ其ノ事項本人ノ年齢及婚姻ニ係ルトキハ戸籍抄本ヲ添付ス陸軍省ニ報告スヘシ

第十條 轉職轉役轉籍等ニ依リ兵籍ノ所管ヲ變更スルトキハ舊所管廳ヨリ其ノ兵籍
ヲ新所管廳ニ送附シ新所管廳ニ於テ兵籍ノ訂正ヲ爲スヘシ

第十一條 免官、免役若ハ退役トナリタル者、後備役若ハ補充兵役ヲ終リタル者又ハ
死亡シタル者ノ兵籍ハ之ヲ兵籍簿ヨリ除去スヘシ但シ恩給又ハ扶助料ノ支給上必
要アルモノハ別冊トシテ保存スヘシ

第十二條 戰時ニ在リテ召集セラレタル國民兵役者ノ兵籍ハ戰役間補充兵ノ例ニ依
リ戰役終了後ハ前條ニ準シ取扱フモノトス

附則

本令ハ明治三十七年二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍兵籍規則

從前ノ兵籍簿及其ノ用紙ハ當分之ヲ應用スルコトヲ得
附表第一(料紙西ノ内紙) 九寸

兵科 何兵	所管 何師團何部	本籍 何府(縣)何郡(區)何市(町)何村(番地)	氏名 「某長(次)男(兄)(弟)(戸主)」 「爵 何 某」
	族籍 華(士)族 平民		
賞典	何年何月日(何々役何々ニ付)叙勳何等 年金(金)何百圓下賜		
刑罰	何年何月日何々ノ科ニ依リ輕謹慎何日		
公傷公病	何年何月日何地ニ於テ何々ニ依リ何傷(病)ヲ受ク		
陸軍出身	何年何月日何省出仕		
前ノ履歷	何年何月日何々ニ依リ免出仕		
履歷	妻	何年月日婚姻 何某長(次)女 某	誕生 何年月日
	子	嗣子長男(養子) 某 長女 某 次男 某 何某目生	死亡 何年月日 何ノ地ニ於テ(戰)病)死
父	養父 何某 繼父 何某 祖父 何某	養母 何某 繼母 何某	祖母 何某
母	養母 何某 繼母 何某	兄弟 何某(兄)弟 何某(弟)	姊妹 何某(姊)妹 何某(妹)

年何治明	何月日士官候補生トシテ何隊入隊	年何治明	何月日士官學校入校○何月日退校○
年何治明	何月日何兵少尉○何月日正八位○ 何月日何學校入校	年何治明	何月日一等給下賜○何月日何々ニ付何地ニ派遣(巡回)何月日歸著辭令アルモ著ノニ限ル
年何治明	何月日何國留學何月日出發何月日歸朝○何月日何聯隊附	年何治明	何月日何々委員陸軍省辭令ニ限ル○何月日軍法會議判士長(判士)
年何治明		年何治明	何月日ヨリ何月日迄何隊ニ於テ勤務演習
第一種陸軍兵籍			

陸軍兵籍規則

一 賞罰ハ陸軍出身後ニ係ルモノヲ掲ク下士ヨリ進級ノモノハ下候補生及生徒
中ノ賞罰ハ記載セス士中ノ賞罰モ記載スヘシ

二 履歴ハ陸軍出身後ノ事項ヲ逐年順次ニ記載スヘシ若シ某年間記スヘキ事項
ナキ時ト雖トモ空畫ヲ置カサルモノトス

三 任免補職等ノ月日ハ辭令ノ日ヲ記載スルモノトス

四 動員後ノ履歴ハ朱書スヘシ且出戰軍ニ編入セラレタル者外國戰ニ當リテハ
内國港灣發著ノ月日内國戰ニ當リテハ戰地ニ臨ミタル月日及戰地ヲ去リタ
ル月日、臨戰(合圍)地境内ニ於テ服役シタルトキハ其始終ノ月日又ハ外國
ノ鎮戍ニ編入セラレタル者ハ内國港灣並ニ該國港灣發著ノ月日ヲ記載スヘ
シ

五 臺灣ノ軍隊官衙ニ編入セラレタル者ハ臺灣港灣發著ノ月日ヲ記載スヘシ

六 戶籍ニ關スル事項ハ族籍、本籍、氏名、誕生、妻父母祖父母及兄弟姊妹ノ區畫
ニ記載スヘキコトヲ云フ

七 豫備役後備役中ノ婚姻ハ朱書スヘシ
 八 區畫中ノ(一)ハ記載例ヲ示ス

附表第二(料紙西ノ内紙)

九寸

兵科 何兵	所管 何師團何聯 隊(何大隊)	何府(縣) 何郡(區) 何市(町) 何村	官等 級	氏名 某長(次)男(兄)(弟) (戸主) 爵 何某
族籍 (華(士)族) (平民)	本籍 (市) (町) (村)	番地		
人隊 何兵士官候 補生トシテ何 年何月何日何 隊へ入隊	適任日 何年何月何日	特業 書ヲ賜フ	電信或 ハ何々	誕生 何年何月何日
現役 何ケ年	何年何月何日ヨリ 何年何月何日ニ至ル	備		死亡 何年何月何日 地ニ於テ戰(病) 死
再服役 何ケ年	同			
豫備役 何ケ年何ケ月	同			
後備役 何ケ年	同	考		
免役除役 何年何月何日何々ニヨリ免役(免官)(除役)			妻 何年何月何日婚姻 何某長(次)女 某	

公傷公病 何年何月何日何地ニ於テ何傷(病)ヲ受ク
 褒賞 何年何月何日勤功賞ヲ賜フ○何年何月何日善行證書ヲ賜フ
 刑罰 何年何月何日何々ノ科ニ依リ輕營倉(禁足)何日間
 陸軍出身 何年何月何日何省雇員
 前ノ履歷

第二種陸軍兵籍

履歷

明治何年	何月何日何々トシテ何隊へ入隊○何月何日卒業○何月何日伍長○同日歩兵第一等卒喇叭手	明治何年	何月何日給與掛(何々書記)○何月何日何聯隊附免何司令部附
明治何年	何月何日何學校入校何月何日退校○何月何日一等給下賜○何月何日曹長	明治何年	何月何日何々ニ付何地へ派出何月何日歸著○何月何日何々助教
明治何年		明治何年	何月何日ヨリ何月何日マテ何隊ニ於テ勤務演習

- 一 賞罰ハ陸軍出身後ニ係ルモノヲ掲ク但生徒中ノ賞罰ハ記載セス
- 二 履歴ハ陸軍出身後ノ事項ヲ逐年順次ニ記載スヘシ若シ某年間記スヘキ事項

ナキト雖モ空畫ヲ置カサルモノトス

- 三 任免命課等ノ月日ハ辭令ノ日ヲ記載スルモノトス
- 四 動員後ノ履歴ハ朱書スヘシ且出戰軍ニ編入セラレタル者外國戰ニ當リテハ内國港灣發著ノ月日内國戰ニ當リテハ戰地ニ臨ミタル月日及戰地ヲ去リタル月日臨戰(合圍)地境内ニ於テ服役シタルトキハ其始終ノ月日又外國鎮戍ニ編入セラレタル者ハ内國港灣並ニ該國港灣發著ノ月日ヲ記載スヘシ
- 五 臺灣ノ軍隊官衙ニ編入セラレタル者ハ臺灣港灣發著ノ月日ヲ記載スヘシ
- 六 等級ハ現等ヲ記載ス但二等卒ハ記載スルニ及ハス
- 七 戶籍ニ關スル事項ハ族籍、本籍、氏名、誕生、妻ノ區畫ニ記載スヘキコトヲ云フ
- 八 豫備役後備役中ノ婚姻ハ朱書スヘシ
- 九 輜重輸卒ノ補兵充ニ在テハ第一面欄外中央上部ニ職業ヲ朱書スヘシ
- 十 區畫中ノ()、〔 〕ハ記載例ヲ示ス

三十五年
九月省令
第二十九
號參看

●陸軍省令第十五號 (明治三十年五月二十二日)

陸軍戰時名簿規則

第一條 陸軍戰時名簿ハ陸軍軍人軍屬及兵役義務アル者動員以後身上ニ關スル必要ノ諸件ヲ登記スルモノトス

第二條 陸軍戰時名簿ハ分テ第一種及第二種トス

第一種戰時名簿(第一様式)ハ將校同相當官准士官、第二種戰時名簿(第二様式)ハ下士兵卒雜卒職工ヲ包補充兵國民兵軍屬ニ用ユ

第三條 戰時名簿ハ將校同相當官准士官下士兵卒ノ始メテ任官サレタルトキ又ハ入隊シタルトキ軍隊官衙學校教導團ヲ包含ニ於テ調製スヘシ

第一補充兵輜重輸卒ノ戰時名簿ハ始メテ其ノ役ニ就キタルトキ第一補充兵輜重輸卒ヲ除及第二補充兵ノ戰時名簿ハ始メテ召集ニ應シタルトキ聯隊區司令部警備隊區ニ

隊司令部、警備隊區司令部ニ於テ調製スヘシ但人相ハ本人ノ始メテ召集ニ應シタルトキ聯隊區司令部ヨリ名簿ヲ召集部隊ニ送付シ該部隊ニ於テ之ヲ記入スルモノトス
第一國民兵ノ戰時名簿ハ編入前調製ノモノヲ以テ之ニ充テ第二國民兵ノ戰時名簿

陸軍戰時名簿規則

ハ其ノ召集ニ應シタルトキ諸部團隊ニ於テ調製スヘシ

第四條 戰時名簿ハ復員後更ニ之ヲ調製シ舊名簿ニ記載スル叙位叙勳任官進級其ノ他履歷中主要ノ事項ヲ兵籍ニ轉載スヘシ但國民兵ノ名簿ハ更ニ調製スルヲ要セス
第五條 留守擔當者ノ氏名現役將校同相當官ノ寄留地及動員前ノ所屬ハ應用ノ際軍隊官衙學校ニ於テ記入スルモノトス但師團長ハ平時ヨリ之ヲ記入スルノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六條 豫備役後備役下士兵卒第一補充兵元下士以下ナル第一國民兵ノ戰時名簿ニ記載スル人相ハ召集ノ際諸部團隊ニ於テ本人ニ照合シテ訂正スルモノトス
第七條 戰時名簿ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ備フヘシ

在職將校同相當官准士官現役下士兵卒歸休兵ヲ除ク軍屬ハ軍隊官衙學校

休職停職豫備役後備役將官同相當官ハ師團司令部其ノ召集中ハ諸部團隊

一補充兵ハ聯隊區司令部其ノ召集中ハ諸部團隊

第一國民兵ノ戰時名簿ハ本籍地市區役所町村役場戶長役場及之ニ準スヘキモノ
第八條 第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ハ聯隊區司令部警備隊區ニ在テハ警備隊司令部警備

隊區司令部ヨリ本籍地ノ島司郡市區長ニ送付スヘシ島司郡長ニ在テハ町村長戶長及之ニ準スヘキ者ニ送付スヘシ

第九條 轉職轉役及在郷者ノ轉籍等所屬ヲ轉換シタル者ノ戰時名簿ハ舊所屬ヨリ新所屬ニ送付スヘシ但現役ヨリ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ハ聯隊區司令部ニ送付スヘシ

第十條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官、見習軍吏ノ戰時名簿ハ戰役中動員ヲ行ヒタル諸部團隊ニ附屬シタルトキ其ノ諸部團隊ニ於テ本人ノ階級ニ應シ將校下士兵卒ニ準シテ調製スヘシ

附則

第十一條 第一國民兵戰時名簿ハ従前ノ名簿ヲ以テ之ニ充テ漸次改正ノ名簿ニ改ムルモノトス

本則ハ明治三十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス但明治三十四年及其ノ以前徵集ノ第一補充兵中未教育ノ者ノ戰時名簿ハ従前ノ規定ニ依ル

陸軍戰時名簿規則

料紙西ノ内半葉

九寸

〔丙ハ孰モ朱書〕

ノ四

長七川本

族籍 〔華(士)族 (平民)〕	本籍 〔何府(縣)何郡 (市)(區)何町官名 (村)何番地〕	寄留 〔記載方右ニ同位階 シ〕	動員前 及准士官ニ在テハ其所 ノ所屬聯隊區名ヲ記スヘシ	賞典 動員後ニ係ルモノヲ記載ス	刑罰 動員後ニ係ルモノヲ記載ス	動員前 及准士官ニ在テハ其所 ノ所屬聯隊區名ヲ記スヘシ	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死
動員前 及准士官ニ在テハ其所 ノ所屬聯隊區名ヲ記スヘシ	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死	動員後 何兵第何 誕生 何年月日 死亡 何年月日何地 ニ於テ戰(病)死

動員後履歷

動員前履歷

〔明治何年何月何日第何師團參謀被
仰付○何月何日何地出發同何日何地
上陸○何月何日何地ニ於テ戰鬪○何
月何日任少佐同日第何聯隊第何大隊
長被仰付○何月何日何地ニ於テ戰鬪
ノ際何部ニ貫通銃傷ヲ受ケ何地病院

〔明治何年何月何日士官候補生トシ
テ何隊ニ入ル○何年何月何日任少尉
○何年何月何日叙正八位○何年何月
何日任中尉○何年何月何日叙從七位
○何年何月何日一等給○何年何ノ役
何隊附ヲ以テ從軍○何年何月何日任

ニ入ル○何年何月全癒退院何地ヲ經
何月何日復隊○何月何日何々ノ功ニ
依リ何々ニ叙セラレ何勳章ヲ賜フ○
何月何日何地出發同何日何地ニ於テ
乘船同何日何地ニ上陸何月何日凱
旋

大尉何中隊長ニ補セラレ○何年何月
何々ニ依リ謹慎何日○何年何月何日
中隊長ヲ免シ何々ニ補セラレ○何年
何月何々ノ功ニ依リ何々

〔記載方ハ其梗概ヲ示スノミ宜シク類ヲ推シテ記載スヘシ(動員前履歷
履歷)ノ區畫ニハ任官叙位叙勳ニ關シ調査上必要ノ事項ヲ記載シ(動員後
履歷)ノ區畫ニハ動員後平定迄ニ係ル任官叙位叙勳功績其ノ他主要ナル
經歷ヲ記載スヘキモノトス

留守擔當者ノ
住所氏名

第一種戰時名簿

料紙西ノ内紙半葉

九寸

族籍 〔華(士)族 (平民)〕	本籍 〔何府(縣)何郡 (市)(區)何町官名 (村)何番地〕	寄留 〔記載方右ニ同 シ〕	等級 〔一等卒〕	氏名 〔某長(次)男(兄) (弟)(戶主)〕
認識票 番號	第何番	寄留	等級	氏名

陸軍戰時名簿規則

ノ五

特業		動員前ノ所屬	動員後ノ所屬	賞典	人幹	相顯	再服	役
擔架術 或ハ何々	入隊	何聯隊區	動員後ノ所屬	動員後ニ係ルモノヲ記載ス	顔	髮	自明治何年何月何日至何年何月何日	自明治何年何月何日至何年何月何日
明治何年何月何日	隊	何兵第何	聯(大)隊	刑罰	額	眉	何日	自明治何年何月何日至何年何月何日
位階	從	誕生	第何中隊	動員後ニ係ルモノヲ記載ス	眼	痘	何日	自明治何年何月何日至何年何月何日
功	何	何年月日			鼻	微別	何日	自明治何年何月何日至何年何月何日
何	何	死亡			口		何日	自明治何年何月何日至何年何月何日
名	名	(病)死						
		何年何月何日何地ニ於テ戰						

動員後履歷

動員前履歷

「明治何年何月何日充員召集ニ應シ何隊ニ編入○何年何月何日何地出發同何日何地上陸○何月何日何地ニ於テ戰鬪○何月何日任何官○何月何日何々ノ功績アリ○何月何日何々ニ依リ重禁錮ニ箇月ニ處セラレ○何月何日何地戰鬪ノ際何々部ニ貫通銃傷ヲ

「明治何年何月何日任何官(一等卒被申付)○何年何月何日豫備役編入○何年何月何日充員召集ニ應シ何隊ニ編入何戰役ニ從軍○何年何月何々ノ功ニ依リ何々○何年何月何日召集解除」

三十五年六月省令第十九號參看

陸軍戰時名簿規則

第二戰時名簿

備考 輜重輸卒ノ第一補充兵ニ在テハ欄外中央上部ニ職業ヲ朱記スヘシ

受ケ即日何病院ニ入ル○何月何日全癒退院何補充隊ニ編入○何月何日召集解除

「記載方ハ其梗概ヲ示スノミ宜シク類ヲ推シテ記載スヘシ(動員前履歷)ノ區畫ニハ任官叙位叙勳ニ關シテ調査上必要ノ事項ヲ記載シ(動員後履歷)ノ區畫ニハ動員後平定迄ニ係ル任官叙位叙勳功績其他主要ナル經歷ヲ記載スヘキモノトス」

留守擔當者ノ住所氏名